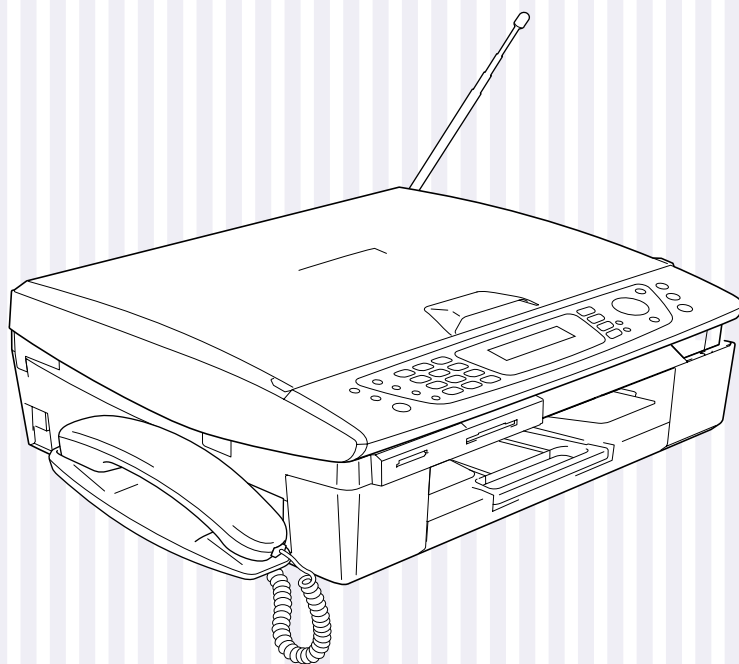
取扱説明書

～パソコン活用編～

- プリンタ
- スキャナ
- PC-FAX
- フォトメディアキャプチャ
- リモートセットアップ
- その他の便利な使いかた
  - ・ControlCenter2.0

やりたいこと目次

やりたいこと別の一覧があります。
4ページをご覧ください。

この商品の取り扱い・操作についてご不明な点がございましたら、下記お客様相談窓口（コールセンター）にお気軽にお問い合わせください。

お客様相談窓口　NTTコミュニケーションズ ナビダイヤル® **0570－031523**

全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。

受付時間：月～金　9：00 ～ 20：00
　　　　　土　　　9：00 ～ 17：00

※上記番号がつながりにくいときは、「**052－824－5149**」にご連絡ください。

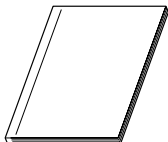
日・祝日および当社（ブラザー販売(株)）休日は休みとさせていただきます。

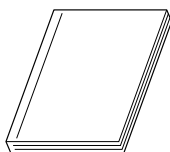
ブラザーソリューションセンター：http://solutions.brother.co.jp/

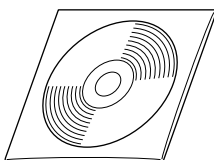
Version E

取扱説明書の構成

本機には、以下の取扱説明書が同梱されています。

かんたん設置ガイド

本機を使用するための準備について記載しています。

取扱説明書

記録紙のセット、ファクス、コピー、フォトメディアキャプチャ、本機のお手入れ、困ったとき、などについて記載しています。

CD-ROM

付属の CD-ROM には、以下の PDF マニュアルが収録されています。

●取扱説明書～パソコン活用編～（本書）
プリンタ、スキャナ、PC-FAX など、パソコンと接続して使う機能について記載しています。

●ネットワーク設定説明書
ネットワークプリンタまたはネットワークスキャナとしての使い方を説明しています。

また、かんたん設置ガイド、取扱説明書も PDF 形式で収録されています。

- パソコンにドライバをインストールした後は、取扱説明書を Windows® の［スタート］メニューから閲覧できるようになります。［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［（モデル名）］－［取扱説明書］を選んでください。
- 最新の取扱説明書は、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

本書の見かた

■ 本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

記号	説明
注意	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
(メモアイコン)	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
(矢印)	参照先などを記載しています。

■ 本書で使用されているイラスト

本書では本機や操作パネルの説明に、MFC-610CLN を使用しています。他のモデルをお使いの場合、操作パネルの説明は該当するボタンに読み替えてください。

必要なソフトウェア

本機をプリンタやスキャナとして使うには、付属の CD-ROM に収録されているドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。

パソコンとの接続やドライバのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をお読みください。

目　次

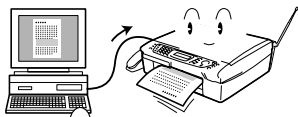
Windows® 編

Macintosh® 編

やりたいこと目次

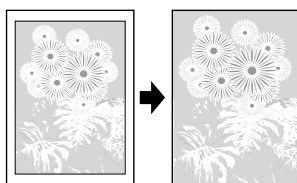
■ プリンタ

● プリンタとして使う

本機とパソコンを接続して、プリンタとして利用できます。

[Windows® の場合]

[Macintosh® の場合]

● 記録紙いっぱいに印刷する [ふちなし印刷]

余白が出ないように、記録紙いっぱいに印刷できます。写真やハガキを印刷するときに便利です。

[Windows® の場合]

[Macintosh® の場合]

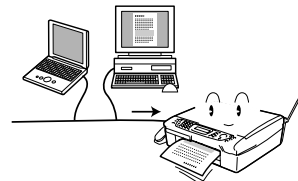
● 設定を選んで印刷する [おまかせ印刷]

あらかじめ登録されている設定を選ぶだけで、印刷できます。

(Windows® のみ)

12 ページ

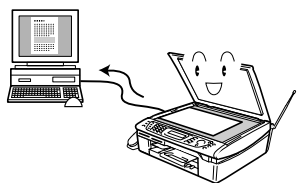
● ネットワークプリンタとして利用する

本機をネットワーク環境で使用します。ネットワーク上の複数のパソコンから印刷できます。

[Windows® の場合]

[Macintosh® の場合]

■ スキャナ

● 原稿をスキャンしてパソコンに保存する

本機とパソコンを接続して、スキャナとして利用できます。

[Windows® の場合]

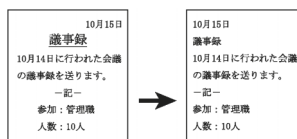
30 ページ

[Macintosh® の場合]

88 ページ

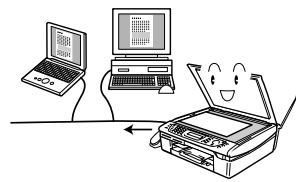
● 文字を修正できるようにスキャンする [Brother 日本語 OCR]

スキャンした画像データを解析して、文書(テキスト)データに変換できます。

(Windows® のみ)

39 ページ

● ネットワークスキャナとして使う

本機をネットワーク上で共有できるスキャナとして利用できます。

(スキャンキーの登録が必要です。)

[Windows® の場合]

40 ページ

[Macintosh® の場合]

93 ページ

● よく使うスキャン設定を登録する [ControlCenter2.0]

あらかじめ、よく使う設定を登録しておくと、ボタンをクリックするだけで設定した内容でスキャンができます。

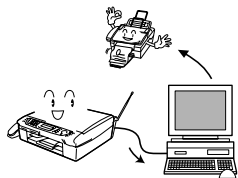
(Mac OS 8.6~9.2を除く)

[Windows® の場合]

[Macintosh® の場合]

■ PC-FAX

● パソコンからファクスを送る［PC-FAX］

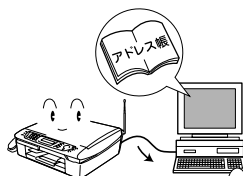
パソコンで作成した書類や画像などを、アプリケーションから直接ファクスできます。わざわざ印刷する必要はありません。

［Windows® の場合］

46 ページ

［Macintosh® の場合］

96 ページ

● アドレス帳を利用する［PC-FAX アドレス帳］

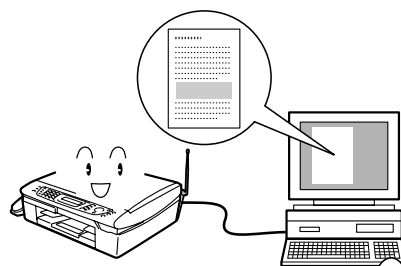
PC-FAX を送るときに利用するアドレス帳を作成できます。
Outlook Express のアドレス帳データを使用することもできます。
（Windows® のみ）

［Windows® の場合］

48 ページ

［Macintosh® の場合］

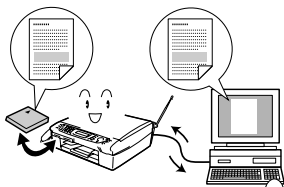
99 ページ

● 受信したファクスをパソコンで確認する［PC-FAX 受信］

受信したファクスを本機と接続しているパソコンに送ります。パソコン上で内容を確認してから印刷できます。（Windows® のみ）

55 ページ

■ フォトメディアキャプチャ

● メモリーカードをリムーバブルディスクとして利用する

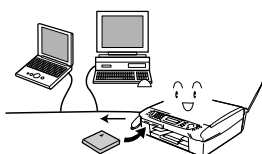
カードスロットにセットしたメモリーカードは、パソコン上で「リムーバブルディスク」として使用できます。

［Windows® の場合］

60 ページ

［Macintosh® の場合］

106 ページ

● ネットワークでメモリーカードを利用する［ネットワークメディアカードアクセス］

ネットワークで接続された複数のパソコンから、本機のカードスロットにセットしたメモリーカードにアクセスできます。

［Windows® の場合］

60 ページ

［Macintosh® の場合］

106 ページ

■ その他

● パソコンからインク残量を確認する［ステータスモニター］

現在のインク残量を確認できます。
（Windows® のみ）

10 ページ

● スキャナ、PC-FAX などをかんたんに起動する［ControlCenter2.0］

スキャナや PC-FAX、リモートセットアップ機能などをかんたんに起動できるソフトウェア「ControlCenter2.0」を使用できます。（Mac OS 8.6 ～ 9.2 を除く）

［Windows® の場合］

67 ページ

［Macintosh® の場合］

115 ページ

第 1 章 プリンタ

プリンタとして使う前に

ドライバをインストールする必要があります

本機をプリンタとして使用する場合、付属のCD-ROMに収録されているドライバをインストールする必要があります。

パソコンとの接続や、ドライバのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

こんなことができます

本機は、高品質のインクジェットプリンタとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でもパソコンからのデータを印刷できます。
ネットワーク環境ではネットワークプリンタとして使用できます。

以下に、プリンタとしての特長を説明します。

● **ハイスピード印刷** 「高速」モードを使うことで1分間に最高15枚のフルカラー印刷/20枚のモノクロ印刷ができます。印刷時間は印刷する内容によって違います。	● **1200 × 6000dpi 出力** 特殊コーティング紙や光沢紙に高解像度1200 × 6000dpiで印刷します。	● **経済的な印刷コスト** なくなったカラーのインクカートリッジだけ交換することができ、経済的です。
● **多彩な記録紙対応** 本機は普通紙、インクジェット紙、光沢紙、OHPフィルム、はがき、および封筒に対応します。 (ラベル紙には対応していません。)	● **USB(Universal Serial Bus) 2.0 フルスピードに対応** 本機のUSBポートはコンピュータとの通信に対応します。	● **画質強調** 本機は印刷する画像に対して、より鮮やかに、よりシャープに補正を加えることができます。また、この設定はカスタマイズも可能です。

本機では、双方向印字と片方向印字が選べます。片方向印字のほうが高画質ですが、印刷スピードは遅くなります。

記録紙について

本機をプリンタとして使う場合の記録紙については、取扱説明書「記録紙のセット」をご覧ください。

この章で使用している画面について

この章では、MFC-5840CNの画面を例に説明しています。

印刷する

本機をプリンタとして使うときは、「通常使うプリンタ」として設定し、各種の印刷設定を行います。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ

2 ［印刷］ダイアログボックスで、接続している本機のモデル名を選び、［プロパティ］をクリックする

◆ ［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。（最初は「おまかせ印刷」タブが表示されています。）

3 必要に応じて各項目を設定する

設定内容の詳細については、「印刷の設定を変更する」（12 ページ）をご覧ください。

4 [OK] をクリックする

◆ 設定した内容が有効になり、［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

5 [OK] をクリックする

◆ ファイルが印刷されます。

◆ 次回の印刷から本機が選ばれ、設定した内容で印刷されます。

メモリーに残っているデータを消す

何らかの理由で印刷を中断したとき、本機のメモリーに印刷のデータが残っていることがあります。液晶ディスプレイに「データガ ノコッテイマス」と表示されている場合、残っているデータを消します。

1 停止/終了 を押す

◆ メモリーに残っているデータが削除されます。

印刷品質をチェックする

きれいに印刷されないときは、印刷品質をチェックしてください。詳しくは、取扱説明書「印刷品質をチェックする」をご覧ください。

ジョブをキャンセルする

処理中のジョブをキャンセルして、メモリーからデータを消します。

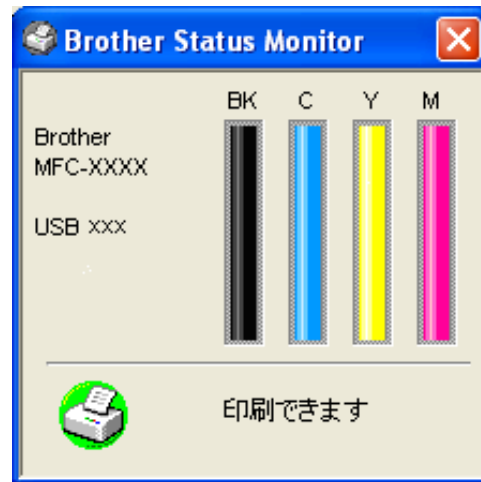
1 停止/終了 を押す

◆ 印刷がキャンセルされます。

■ ファクスを送受信中に印刷する

ファクスを送受信しているときや原稿をスキャンしている間も、印刷をすることができます。
ただし、受信したファクスを印刷している間は、印刷が一時的に停止します。ファクスの出力が完了したあとで、印刷が再開されます。

印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニター）

使用しているパソコンから、本機の印刷状況やインクの残量、記録紙の有無などを確認できます。

注意

- ■ **1色でもインクカートリッジが「インクギレ」になると、本機はモノクロ／カラーともに印刷をすることができなくなります。このときにファクスが送られてきた場合は、本機はメモリー代行受信でファクスを受信します。**
- ■ **1色でもインクカートリッジが「マモナクインクギレ」になると、本機はカラーファクスの受信を行いません。そのため、定期的にインクの残量を確認することをお勧めします。**

本機の状態を確認するウィンドウを表示するときは、タスクトレイのアイコンをダブルクリックするか、［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［ステータスモニター］を選びます。

本機の状態を確認する

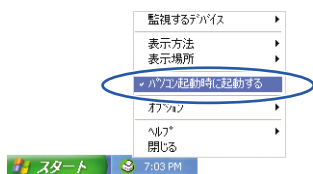
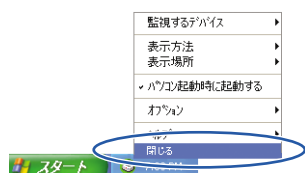
パソコンを起動すると、タスクトレイに本機の状態を示すアイコンが表示されます。アイコンの色で本機の状態を見分けることができます。

アイコン	状態
● 緑色のアイコン	本機は正常に動作しています。
● 黄色のアイコン	本機は警告状態です。
● 赤色のアイコン	本機に何らかのエラーが発生しています。エラーが発生しているときは、本機の状態を確認してください。問題が解決しないときは、取扱説明書「困ったときは」をご覧ください。

お買い上げ時の設定ではタスクトレイにアイコンが表示されますが、タスクバーやデスクトップに表示させることもできます。表示させる内容や場所を変更するときは、タスクトレイのアイコンを右クリックして設定します。

ステータスモニターを表示しない

ステータスモニターを常に表示しないときは、以下の手順で操作します。

1 タスクトレイのアイコンを右クリックし、［パソコン起動時に起動する］を選んでチェックをはずす

2 タスクトレイのアイコンを右クリックし、［閉じる］を選ぶ

◆ ステータスモニターのアイコンがタスクトレイから消えます。

［パソコン起動時に起動する］のチェックをはずすと、プリンタドライバの「拡張機能」タブで「ステータスモニター」が ON になっていてもステータスモニターは表示されません。

タスクトレイにアイコンがない状態でステータスモニターを表示する場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［（モデル名）］－［ステータスモニター］を選びます。

印刷の設定を変更する

パソコンから印刷するときは、印刷する内容に合わせてプリンタドライバで設定を行います。プリンタドライバで設定できる項目は、OS が異なっていても基本的に同じです。機能の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

注意

- **お使いの OS によっては利用できない項目があります。**
- **お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となりますので、同時に使用しないでください。**

「おまかせ印刷」タブの設定

本機のプリンタドライバには、あらかじめ「通常印刷（A4)」「写真印刷（A4)」など 10 種類の印刷設定が登録されています。登録されている設定を使うと、簡単に印刷できます。最新のプリンタドライバは、Brother Solutions Center（ブラザーソリューションセンター http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

また、これらの設定は変更したり、新しい名前を付けて登録し直したりできます。

（＊）の部分には、用紙種類、印刷品質、用紙サイズ、レイアウト、印刷の向き、印刷順序、カラー / モノクロの現在の設定が表示されます。

「おまかせ印刷」タブは、表示しないようにすることもできます。（23 ページ）

① **項目**

目的に応じた印刷設定をクリックして選び、[読みこみ] をクリックすると、設定内容が読み込まれます。

印刷部数、印刷方向、部単位で印刷、ウォーターマークは、「基本設定」タブ（13 ページ）または「拡張機能」タブ（17 ページ）で別途設定を行います。

■ おまかせ印刷の設定内容を確認するときは

おまかせ印刷の設定を確認するときは、「おまかせ印刷」タブの [現在の設定] をクリックします。
（戻るときは [閉じる] をクリックします。）

■ おまかせ印刷の設定を変更するときは

おまかせ印刷の設定を変更するときは、「拡張機能」タブの「その他の特殊機能」にある「「おまかせ印刷」の設定を変更する」（22 ページ）から行います。

「基本設定」タブの設定

選んだ設定を確定するときは、［OK］をクリックします。標準設定に戻すときは［標準に戻す］をクリックします。

（＊）の部分には、印刷品質、用紙サイズ、レイアウト、印刷の向き、印刷順序、カラー / モノクロの現在の設定が表示されます。

① 用紙種類

記録紙の種類を選びます。記録紙トレイにセットした記録紙の種類を選ぶことで、印刷品質が向上します。

用紙の種類
普通紙
インクジェット紙
光沢紙
OHP フィルム
乾きにくい紙

「乾きにくい紙」は、一部のインクジェットハガキの宛名側など、インクが乾きにくい記録紙を使用する場合に選びます。

② 印刷品質

印刷する文書に必要な（最適な）印刷解像度を選びます。選べる解像度は、①で選んだ記録紙の種類によって異なります。

設定	解像度（dpi）	内容	印刷速度
高速	600 × 150	大量の文書や、校正用の文書を印刷するとき ※最も印刷速度が速く（「標準」の 2 ～ 3 倍の速度）、インクの消費量も少なくなります。	速い
標準（はやい）	600 × 300	通常の印刷のとき（品質と印刷時間のバランスがとれています。）	
標準	600 × 600	「標準（はやい）」より、さらに高画質で印刷するとき	
標準（きれい）	750 × 750		
きれい	1200 × 1200	精密な文章や画像を印刷するとき	
写真	1200 × 2400	精密な画像を印刷するとき	
写真（最高画質）	1200 × 6000	さらに精密な画像を印刷するとき	遅い

印刷速度は印刷品質（解像度）と関係があり、品質が良いほど印刷速度は遅くなります。

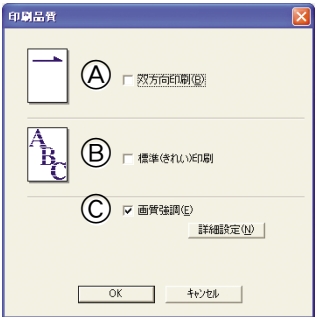
「高速」を選ぶと、「標準（はやい）」に比べて、インクの消費量を約 40%おさえることができます。

「標準（きれい）」については、14 ページをご覧ください。

記録紙の種類を指定したとき、選べる印刷品質は以下のとおりです。お買い上げ時は、太字の項目が選ばれるよう設定されています。

用紙の種類	印刷品質
普通紙	高速 / 標準（はやい）/ **標準** / きれい
インクジェット紙	**きれい** / 写真
光沢紙	きれい / **写真** / 写真（最高画質）
OHP フィルム	**標準** / きれい
乾きにくい紙	高速 / 標準（はやい）/ **標準** / きれい

■ 印刷品質の設定

［設定］をクリックして表示されるダイアログボックスで、印刷品質の設定を行います。

Ⓐ **双方向印刷**

チェックボックスを ON にするとプリントヘッドが両方向から印刷を行います。
チェックボックスが OFF のときは片方向印刷になります。印刷速度は遅くなりますが印刷品質は向上します。

設定	内容
チェックなし（OFF）	一方向から印刷します（印刷品質が良い）。
チェックあり（ON）	双方向から印刷します（印刷速度が速い）。

Ⓑ **標準（きれい）印刷**

お使いの普通紙によっては、プリントした画像に横縞が目立つことがあります。「標準（きれい）」を設定すると、「標準」よりも高い解像度で印刷し、横縞を解消できます。印刷速度は「標準」よりも遅くなります。

Ⓒ **画質強調**

チェックボックスを ON にすると、「詳細設定」の内容が有効になります。この機能は、画像を自動分析し、鮮明さ、ホワイトバランス、色の濃さを改善するものです。
画像データの容量やパソコンの仕様によっても異なりますが、この処理には数分かかります。

ⓐ **カラー濃度**

画像中のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整します。画像の色の量を増減し、色あせた画像や弱々しい画像を改善できます。

ⓑ **ホワイトバランス**

画像中の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。白色部分を調整することで、より自然に近い色合いに印刷できます。

ⓒ **シャープネス**

画像中の輪郭部分のシャープさを強調して、はっきりとした画像に調整できます。

ⓓ **自動イメージ処理**

チェックボックスを ON にすると、より鮮やかに印刷するよう画像を自動的に補正します。この設定を選ぶと、印刷速度は遅くなります。

ⓔ **明るさ**

画像全体の明るさを調整します。

ⓕ **コントラスト（濃淡）**

画像のコントラスト（濃淡）を調整します。

ⓖ **赤・緑・青**

画像中の各色（赤・緑・青）のバランスを調整します。
例）全体に赤みを加えるには、赤の割合を増やします。

③ ふちなし印刷

④ の「用紙サイズ」でふちなし印刷ができる用紙が選ばれると自動的にチェックされます。

ふちなし印刷ができる用紙の条件は以下のとおりです。

用紙サイズ	A4/ レター /A6/ ハガキ /L 判 /2L 判 / ポストカード / インデックスカード
用紙種類	普通紙 / インクジェット紙 / 光沢紙 / 乾きにくい紙
印刷品質	標準（はやい）/ 標準 / きれい / 写真

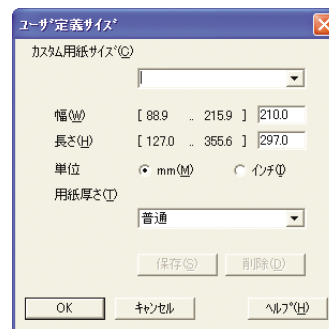
アプリケーションによってはふちなし印刷が有効にならない場合があります。詳細については弊社サポートページ、ブラザーソリューションセンター：http://solutions.brother.co.jp/ をご覧ください。

④ 用紙サイズ

記録紙トレイにセットした記録紙のサイズを選びます。選択肢にないサイズの記録紙に印刷したいときは、「ユーザー定義サイズ」を選んで、任意の用紙サイズを登録します。

設定	サイズ
A4	210 × 297mm
レター	216 × 279mm
リーガル	216 × 356mm
エグゼクティブ	184 × 267mm
B5（JIS）	182 × 257mm
A5	148 × 210mm
A6	105 × 148mm
ポストカード	102 × 152mm
インデックスカード	127 × 203mm
L 判	89 × 127mm
2L 判	127 × 178mm
ハガキ	100 × 148mm
往復ハガキ	148 × 200mm
C5 封筒	162 × 229mm
Com-10	105 × 241mm
DL 封筒	110 × 220mm
モナーク	98 × 191mm
洋形 4 号封筒	105 × 235mm
ユーザー定義サイズ	88.9 × 127.0mm（最小） 215.9 × 355.6mm（最大）
A3 B4（JIS） レジャー	自動的に「印刷用紙サイズ」に合った大きさに合わせます。

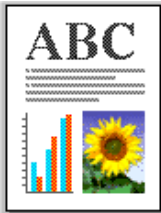
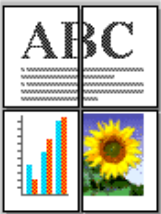
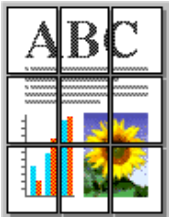
ふちなし印刷ができる用紙には（フチナシ）がついています。ふちなし印刷を行う場合は（フチナシ）の用紙を選んでください。

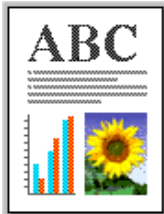
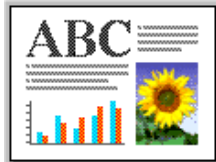
（＊1）ユーザー定義サイズは、以下の手順で設定します。

1. 使用する用紙のサイズをはかる
2. 「ユーザー定義サイズ」を選ぶ
3. 用紙サイズに名前を付ける
4. 用紙サイズの単位（ミリまたはインチ）を選ぶ
5. 長さと幅を入力する
6. 用紙の厚み（普通 / 厚紙）を選ぶ
7. 設定したサイズを保存するときは［OK］をクリックする

アプリケーションによっては、用紙サイズの設定が無効になる場合があります。お使いのアプリケーションに、適切な用紙サイズが設定されていることを確認してください。

最小の用紙サイズを設定した場合は、余白の設定を確認してください。何も印刷されないことがあります。

普通紙を使う場合は、用紙の厚さは「普通」を選んでください。

封筒または厚い用紙を使う場合は用紙の厚さは「厚紙」を選んでください。

⑤ **レイアウト**

1 ページのサイズを縮小して複数のページを 1 枚の用紙に印刷したり、拡大して 1 ページを複数の用紙に印刷できます。

設定	内容
1 ページ	そのままのサイズで印刷します。
2 ページ	1 枚の記録紙に 2 ページを縮小して印刷します。
4 ページ（Windows®2000/XP のみ）	1 枚の記録紙に 4 ページを縮小して印刷します。
縦 2 × 横 2 倍	4 枚の記録紙に 1 ページを分割して印刷します。
縦 3 × 横 3 倍	9 枚の記録紙に 1 ページを分割して印刷します。

⑥ **仕切り線**

レイアウトで「2 ページ」または「4 ページ」を選んだ場合は、ページの間に実線または破線の境界線を印刷できます。

⑦ **印刷の向き**

文書を印刷する向き（縦または横）を設定します。

縦	横

⑧ **部数 / 印刷順序**

印刷する部数と印刷順序を設定します。

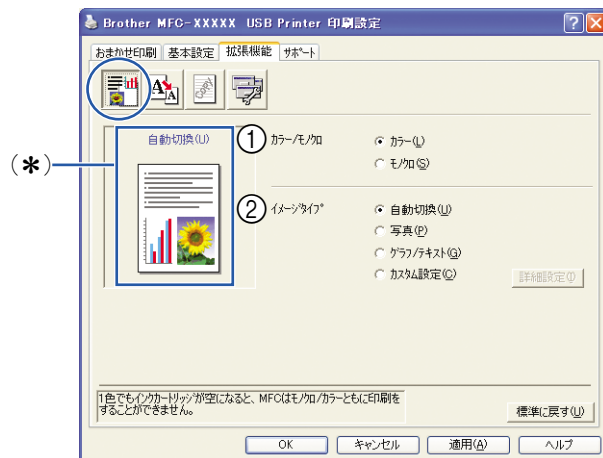
設定	内容
部数	印刷する部数（1 ～ 999）を入力します。
部単位で印刷	「部単位で印刷」のチェックボックスを ON にすると、文書一式が一部印刷されてから、設定した部数だけ印刷が繰り返されます。「部単位で印刷」のチェックボックスが OFF のときは、各ページが設定された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。
逆順で印刷	「逆順で印刷」のチェックボックスを ON にすると、文書が最後のページから印刷されます。

⑨ **給紙方法（MFC-5840CN のみ）**

印刷する記録紙のトレイを選びます。「自動選択」を選ぶと本機が最適なトレイを選びます。
トレイ 2 で使用できる用紙の条件は以下のとおりです。
ふちなし印刷はできません。

用紙サイズ	A4/ レター / リーガル / エグゼクティブ /B5(JIS)
用紙種類	普通紙

「拡張機能」タブの設定

選んだ設定を確定するときは、［OK］をクリックします。標準設定に戻すときは、［標準に戻す］をクリックします。

（＊）の部分には、カラー / モノクロ、イメージタイプの現在の設定が表示されます。

■ 印刷品質の設定

① カラー / モノクロ

「カラー」か「モノクロ」を選びます。

設定	内容
カラー	カラーで印刷されます。
モノクロ	256 階調のグレースケールで印刷されます。

② イメージタイプ

印刷したい文書のタイプに合わせてイメージタイプを選びます。

設定	内容
自動切換	プリンタドライバが、画像種類に応じて最も適切な色補正およびハーフトーンパターンを自動選択します。一般的に、本文や図表は鮮明に印刷され、画像はソフトに印刷されます。（通常は、このモードを使用してください。）
写真	写真のとき選びます。
グラフ / テキスト	図表（グラフ、切り抜き等）を含む文書のとき選びます。
カスタム設定（＊）	色補正およびハーフトーンパターンを任意に設定したいときに選びます。

（＊）カスタム設定

「カスタム設定」を選び、［ 詳細設定 ］をクリックすると、「色補正」と「ハーフトーン」を設定できます。

ⓐ **色補正**

色補正の設定を選びます。

設定	内容
モニターに合わせる	印刷する色をパソコンのモニターで見ている色に最も近くなるように調整します。
通常	写真のとき選びます。（自然な色に調整されます。）
鮮やか	図表（グラフ、切り抜き等）を含む文書のとき選びます。（より鮮やかな色に調整します。）

ⓑ **ハーフトーン**

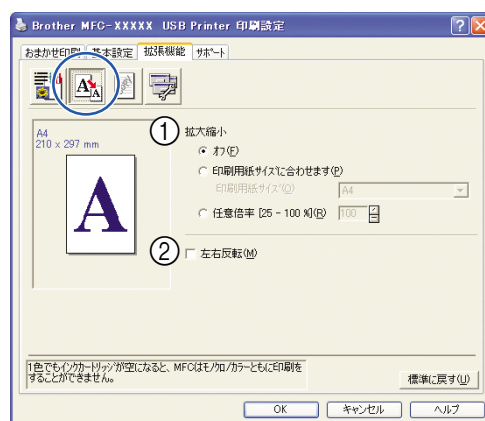
ハーフトーンを表現する点の位置を決めます。画像にあわせて適切な方法を選んでください。

設定	内容
誤差拡散	点を無作為に配置して、ハーフトーンを表現します。図表や微妙な影を持つ写真を印刷するのに適しています。
ディザ	色をあらかじめ決められたパターンで配置して、ハーフトーンを表現します。色の境界がはっきりしている図や業務用グラフなどを印刷するのに適しています。

注意

■ **用紙種類や印刷品質選択の組み合わせによっては、選べないハーフトーン設定もあります。**

■ ページの設定

ページの設定では、文書の印刷サイズを変更できます。

① **拡大縮小**

印刷したい内容の拡大縮小を設定します。

設定	内容
オフ	拡大縮小しないとき選びます。 （画面に表示されたとおりに印刷されます。）
印刷用紙サイズに合わせます	用紙に合わせるとき選びます。 （文書が非定型サイズのとき、標準サイズの用紙しかないときなどに選ぶと、用紙に合わせたサイズに拡大縮小されます。）
任意倍率	縮小したいとき選びます。 （25 ～ 100%の間で、任意の倍率を設定します。）

② **左右反転**

チェックボックスを ON にすると、左右を反転して印刷できます。

「用紙種類」で「OHP フィルム」を選んでいるときは設定できません。

■ ウォーターマークの設定

ロゴや本文をウォーターマーク（透かし絵）として文書に入れます。あらかじめ設定されたウォーターマークの一つを選ぶか、作成済みのビットマップファイルまたはテキストファイルを使うことができます。

① **ウォーターマークを使う**

チェックボックスを ON にすると、ウォーターマークを印刷できます。「ウォーターマーク選択」から使用したいウォーターマークを選んでください。

② **バックグランド印刷**

チェックボックスを ON にすると、文書の背後にウォーターマークが印刷されます。チェックボックスが OFF のときは、文書の一番上（前面）にウォーターマークが印刷されます。

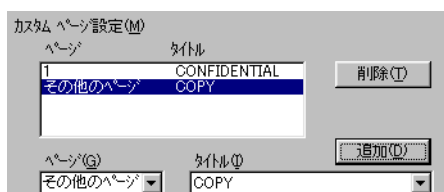
③ **袋文字で印刷する（Windows® 2000/XP のみ）**

チェックボックスを ON にすると、ウォーターマークが袋文字で印刷されます。

④ **ウォーターマークの印刷設定**

ウォーターマークの印刷のしかたを選びます。

設定	内容
全ページ	ウォーターマークが全ページに印刷されます。
開始ページのみ	ウォーターマークが開始ページにのみ印刷されます。
2 ページ目から	ウォーターマークが 2 ページ目から印刷されます。
カスタム（*）	ウォーターマークを印刷するページと内容をそれぞれ設定します。

（*）「カスタム」を選んだときは、「カスタム ページ設定」でページと内容を設定します。

⑤ **ウォーターマークの編集／削除**

設定	内容
［ 編集 ］	ウォーターマークを選び、[編集]をクリックすると、ウォーターマークのサイズとページ上の位置を変更できます。
［ 削除 ］	ウォーターマークを選び、［ 削除 ］をクリックすると、すでに設定されているウォーターマークを削除できます。

⑥ **ウォーターマークの新規追加**

新しいウォーターマークを追加したい場合は、「ウォーターマークを使う」のチェックボックスを ON にして、［ 新規 ］をクリックします。以下の画面で、ウォーターマークを設定します。

ⓐ **タイトル**

設定したウォーターマークのタイトルを入力します。ここで設定したタイトルは、「ウォーターマーク選択」に表示されます。

ⓑ **スタイル**

新しく設定するウォーターマークが、文字かビットマップかを選びます。

ⓒ **ウォーターマーク文字**

ウォーターマークが文字のときは、「表示内容」に文字を入力し、フォント、サイズ、スタイル、カラーを選びます。

ⓓ **ウォーターマークビットマップ**

ウォーターマークがビットマップ形式の画像のときは、［参照］をクリックするか、「ファイル」にデータが保存されている場所のパスを入力して指定します。

また、画像のサイズや画像の濃さ（透明度）を設定できます。

ⓔ **位置**

ウォーターマークを入れる位置を設定します。

■ その他の設定

文書に印刷する日付や時間を設定したり、印刷設定をすばやく行うための設定ができます。

① **日付と時間の印刷**

チェックボックスを ON にすると、設定した日付と時刻を文書に印刷できます。

② **[詳細設定]**

[印刷する] のチェックボックスを ON にし、[詳細設定] をクリックすると、日付と時間を設定できます。([日付・時間] ダイアログボックスが表示されます。)

ⓐ **日付**

日付を選びます。

ⓑ **時間**

時間を選びます。

ⓒ **フォント**

フォントを選びます。

ⓓ **位置**

日付を印刷する位置を選びます。

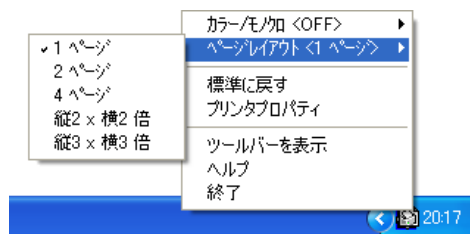
ⓔ **モード**

日付と時間の背景を選びます。

設定	内容
透過印刷する	日付と時刻の背景に色を入れないとき設定します。
上書き印刷する	日付と時刻の背景に色を入れるとき設定します。背景色は、[背景色] をクリックし、色を指定します。

③ **クイックプリントセットアップ**

クイックプリントセットアップで「オン」を選ぶと、「レイアウト」と「カラー/モノクロ」のドライバ設定をすばやく選べます。

タスクトレイのアイコンをクリックするだけで、設定を確認できます。

設定	内容
オフ	クイックプリントセットアップを設定しません。
オン	クイックプリントセットアップを設定します。
レイアウト	チェックボックスを ON にすると、タスクトレイのアイコンをクリックするだけで、「レイアウト」を確認できます。
カラー/モノクロ	チェックボックスを ON にすると、タスクトレイのアイコンをクリックするだけで、「カラー/モノクロ」を確認できます。

この機能を使う場合は Windows® のスタートメニューから [設定] - [プリンタと FAX] を選び、お使いのモデルの印刷設定を選んで設定を行ってください。

④ **ステータスモニター**

ステータスモニターを表示するかどうかを設定します。

ステータスモニターについて詳しくは、「印刷状況やインク残量を確認する(ステータスモニター)」(10 ページ)をご覧ください。

⑤ **おまかせ印刷を登録する**

「おまかせ印刷を登録する」をクリックすると、おまかせ印刷の設定を登録したり、「おまかせ印刷」タブを表示しないように設定できます。

「おまかせ印刷」の設定の変更については、22 ページをご覧ください。

「サポート」タブの確認

本機にインストールされているドライバのバージョンや設定情報、サポート情報を参照できます。

① **Brother Solutions Center（ブラザーソリューションセンター）**
クリックすると、よくある質問（Q&A）、最新のドライバやソフトウェアのダウンロードなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

② **設定の確認**
クリックすると、現在の基本的なドライバ設定の一覧が表示されます。

「おまかせ印刷」の設定を変更する

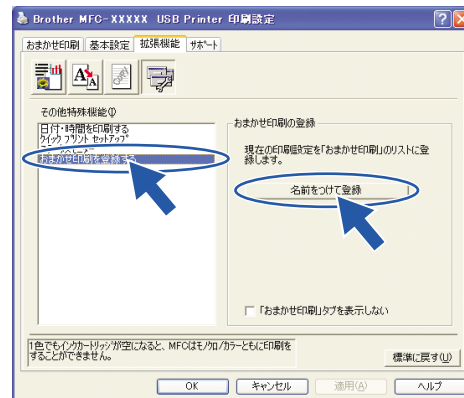
1 プリンタドライバで、登録したい印刷設定に変更する

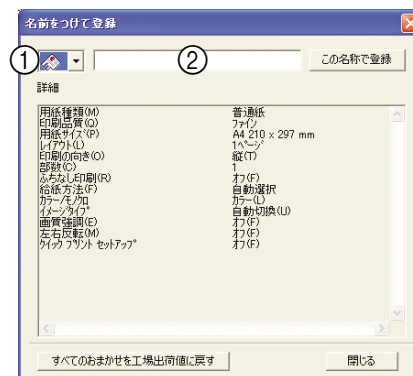
⇒「印刷の設定を変更する」（12 ページ）

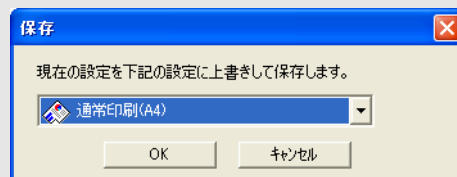
2 「拡張機能」タブをクリックする

3 ［その他の特殊機能］をクリックする

◆「その他の特殊機能」の設定画面が表示されます。

4 「おまかせ印刷を登録する」をクリックし、［名前を付けて登録］をクリックする

◆「おまかせ印刷」の印刷設定一覧が表示されます。

5 アイコン（①）を選び、登録したい名称を入力（②）する

6 ［この名称で登録］をクリックする

◆ 設定を保存するダイアログボックスが表示されます。

7 上書きしたい設定を選び、[OK] をクリックする

「ユーザー設定」以外の設定内容も書き換えることができます。

◆ **設定した印刷設定が、「おまかせ印刷」に登録されます。**

■ おまかせ印刷の設定内容をお買い上げ時の設定に戻すときは

おまかせ印刷の設定をお買い上げ時の設定に戻すときは、手順 5 の画面で、「すべてのおまかせを工場出荷値に戻す」をクリックします。

◆ **10 種類すべてのおまかせ印刷の設定が、お買い上げ時の設定に戻ります。**

■「おまかせ印刷」タブを表示させたくないときは

「おまかせ印刷」タブを表示させたくないときは、手順 4 の画面で、「「おまかせ印刷」タブを表示しない」のチェックボックスを ON にします。

◆ **「おまかせ印刷」タブが表示されなくなります。**

注意

■ **印刷部数、印刷方向、部単位で印刷、ウォーターマークに関する設定は、「基本設定」タブ（13 ページ）または「拡張機能」タブ（17 ページ）で別途設定を行う必要があります。**

第２章 スキャナ

スキャナとして使う前に

ドライバをインストールする必要があります

本機をスキャナとして使用する場合は、付属の CD-ROM に収録されているドライバをインストールする必要があります。以下のソフトウェアを使用すると、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

- Presto!® PageManager®
- Brother 日本語 OCR

ドライバやソフトウェアのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をお読みください。

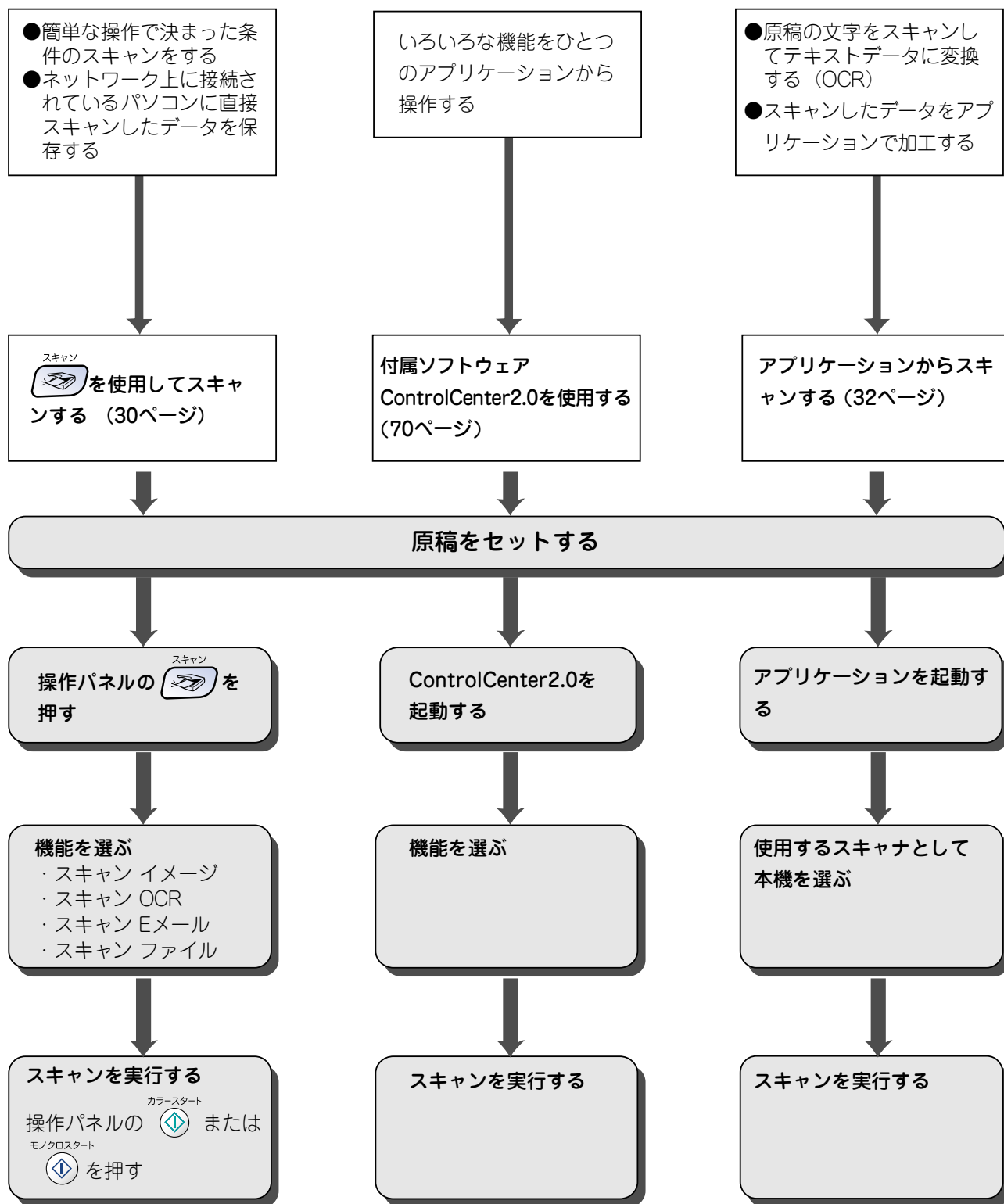
Brother 日本語 OCR は、スキャンした画像ファイルをテキストファイルに変換できます。漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、アラビア数字および図表の入った原稿を認識できます。変換したファイルは TXT 形式、RTF 形式、CSV 形式で保存できるので、Microsoft® Word や Microsoft® Excel で編集できます。

「Presto!® PageManager®」に関する詳細は、ソフトウェアに付属の電子マニュアルを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は以下のとおりです。

ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋 6-21-3
ニューソフトカスタマーサポートセンター
Tel：03-5472-7008 、Fax：03-5472-7009
受付時間：10：00 ～ 12：00 、13：00 ～ 17：00 （土曜、日曜、祝祭日を除く）
電子メール：support@newsoft.co.jp
ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/

TWAIN とは、スキャナなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナやグラフィックソフトウェアが TWAIN に対応しています。「WIA（Windows Image Acquisition）」は Windows でデジタルカメラやスキャナなどから USB などを通して画像を取り込むためのものです。WIA は Windows®Me から採用された新しい機能なので、古い機種やソフトウェアなどは対応していないことがあります。

スキャン方法を選ぶ

本機を使ってスキャンするとき、目的に応じてスキャンの方法や使用するアプリケーションを使い分けてください。

●簡単な操作で決まった条件のスキャンをする
●ネットワーク上に接続されているパソコンに直接スキャンしたデータを保存する

↓

スキャン を使用してスキャンする　（30ページ）

いろいろな機能をひとつのアプリケーションから操作する

↓

付属ソフトウェア ControlCenter2.0を使用する（70ページ）

●原稿の文字をスキャンしてテキストデータに変換する（OCR）
●スキャンしたデータをアプリケーションで加工する

↓

アプリケーションからスキャンする（32ページ）

↓

原稿をセットする

↓

操作パネルの スキャン を押す

↓

機能を選ぶ
- スキャン イメージ
- スキャン OCR
- スキャン Eメール
- スキャン ファイル

↓

スキャンを実行する

操作パネルの カラースタート または モノクロスタート を押す

ControlCenter2.0を起動する

↓

機能を選ぶ

↓

スキャンを実行する

アプリケーションを起動する

↓

使用するスキャナとして本機を選ぶ

↓

スキャンを実行する

原稿をセットする

セットできる原稿

原稿台には、最大厚さ 20mm、最大重量 2kg までの原稿をセットできます。

注意

■ インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

原稿の読み取り範囲

原稿台に A4 サイズの原稿をセットした場合の最大読み取り範囲は下記のようになります。

原稿台ガラスに原稿をセットする

原稿台ガラスの原稿ガイドに合わせて、原稿をセットします。

1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイドの「▶」マークに原稿上端の中央を合わせ、原稿を裏向きにセットする

3 原稿台カバーを閉じる

本などの厚みのある原稿のときは、上から軽く押さえてください。

注意

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開いたままスキャンを実行すると、画像が黒くなることがあります。

■ 原稿台カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。また、強く押さえないでください。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする（MFC-620CLN、MFC-5840CN のみ）

MFC-620CLN および MFC-5840CN には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されています。複数枚の原稿をスキャンするときは、ADF に原稿をセットすると便利です。

1 原稿をそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む

MFC-620CLN の場合は 10 枚、MFC-5840CN の場合は 35 枚まで一度にセットできます。

〈MFC-620CLN〉
スキャンしたい面を下にします。

〈MFC-5840CN〉
スキャンしたい面を上にします。原稿を図のようにそろえてください。

2 幅のガイドを原稿の幅に合わせる

Windows
Macintosh
第 1 章 プリンタ
第 2 章 スキャナ
第 3 章 PC-FAX
第 4 章 フォトメディアキャプチャ
第 5 章 リモートセットアップ
第 6 章 便利な使い方
付録

本機のスキャンボタンからスキャンする

操作パネルの スキャン を使ってスキャンする方法を説明します。
本機をネットワークにつないでお使いの場合は、「ネットワークスキャン機能を使う」（40 ページ）を先にご覧ください。

原稿をスキャンする

原稿をスキャンして、ファイルとしてパソコンに保存します。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

◆ 機能を選ぶ画面が表示されます。

スキャン：▲▼デ センタク

3 ▲▼ で、「スキャン イメージ」を選び、機能/確定 を押す

4 ▲▼ でスキャンした画像データを保存するパソコンの名前（コンピュータ名）を選ぶ

- 本機がネットワークに接続されていない場合、手順 4 の操作は必要ありません。
- USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、< USB >を選びます。
- パソコンにパスワードが設定されている場合は、パソコンの名前（コンピュータ名）を選んだ後に、パスワードを入力します。

5 カラースタート または モノクロスタート を押す

◆ 原稿がスキャンされます。
◆ ControlCenter2.0 で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。

原稿の文字を修正できるようにスキャンする

文字の入った原稿をスキャンして、パソコンで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

◆ 機能を選ぶ画面が表示されます。

スキャン：▲▼デ センタク

3 ▲▼ で、「スキャン OCR」を選び、機能/確定 を押す

4 ▲▼ でスキャンした画像データを保存するパソコンの名前（コンピュータ名）を選ぶ

- 本機がネットワークに接続されていない場合、手順 4 の操作は必要ありません。
- USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、< USB >を選びます。
- パソコンにパスワードが設定されている場合は、パソコンの名前（コンピュータ名）を選んだ後に、パスワードを入力します。

5 カラースタート または モノクロスタート を押す

◆ 原稿がスキャンされます。
◆ ControlCenter2.0 の設定に従って文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。
◆ Brother 日本語 OCR 画面で、変換されたテキストデータの編集ができます。

スキャンした画像を指定したフォルダに保存する

原稿をスキャンしてパソコンの指定したフォルダに保存します。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

◆ 機能を選ぶ画面が表示されます。

スキャン：▲▼デ センタク

3 ▲▼ で、「スキャン ファイル」を選び、機能/確定 を押す

4 ▲▼ でスキャンした画像データを保存するパソコンの名前（コンピュータ名）を選ぶ

- 本機がネットワークに接続されていない場合、手順 4 の操作は必要ありません。
- USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、< USB >を選びます。
- パソコンにパスワードが設定されている場合は、パソコンの名前（コンピュータ名）を選んだ後に、パスワードを入力します。

5 カラースタート または モノクロスタート を押す

◆ 原稿がスキャンされます。

◆ ControlCenter2.0 で設定されている保存先に、指定したファイル形式でデータが保存されます。

保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。

- 保存先フォルダ
  マイドキュメント¥マイピクチャ ¥ Control Center 2 ¥ Scan
  マイピクチャフォルダがない場合は、「マイドキュメント ¥ Control Center 2 ¥ Scan」となります。
- ファイル形式
  JPG
- ファイル名
  CCFyyyymmdd_XXXXX
  yyyy：西暦
  mm：月
  dd：日
  XXXXX：通し番号

スキャンした画像を E メールで送る

スキャンした画像を添付ファイルにして、メールの送信画面を起動します。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

◆ 機能を選ぶ画面が表示されます。

スキャン：▲▼デ センタク

3 ▲▼ で、「スキャン E メール」を選び、機能/確定 を押す

4 ▲▼ で画像データを添付ファイルとして送信するメールソフトのあるパソコンの名前（コンピュータ名）を選ぶ

- 本機がネットワークに接続されていない場合、手順 4 の操作は必要ありません。
- USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、< USB >を選びます。
- パソコンにパスワードが設定されている場合は、パソコンの名前（コンピュータ名）を選んだ後に、パスワードを入力します。

5 カラースタート または モノクロスタート を押す

◆ 原稿がスキャンされます。

◆ スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ControlCenter2.0 で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先のメールアドレスを入力します。

■ ControlCenter2.0 からスキャン時の設定を変更する

スキャン を使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2.0 から変更できます。詳しくは、70 ページをご覧ください。

アプリケーションから直接スキャンする（Windows® XP）

本機のドライバはWIA対応です。ドライバにより、TWAINまたはWIA対応の他のアプリケーション（「Presto!® PageManager®」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。

「Presto!® PageManager®」の操作の詳細については、「Presto!® PageManager® ユーザーズマニュアル」をお読みください。
ユーザーズマニュアルは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Presto!® PageManager® 6］－［Presto!® PageManager® 6.0 ユーザーズマニュアル］を選ぶと表示されます。

原稿をスキャンする

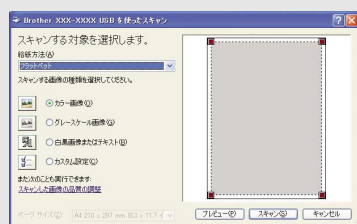
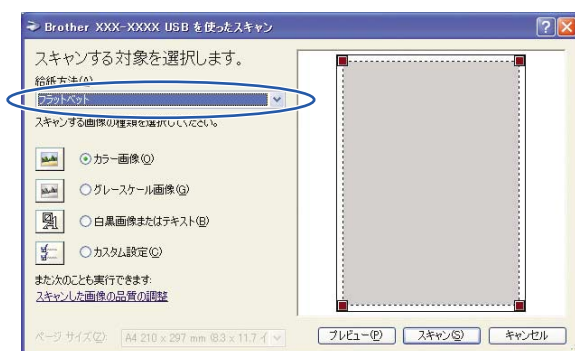
原稿台ガラスに原稿をセットしてスキャンするときは、以下の手順で操作します。ここでは、「Presto!® PageManager®」でスキャンする場合について説明します。

注意

■ **あらかじめ、「Presto!® PageManager®」を起動させ、［ファイル］メニューの［TWAIN 対応機器の選択］で、接続している本機の機種名を選んでおきます。**

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

2 初期画面の をクリックする

◆ WIA ダイアログボックスが表示されます。

3 「給紙方法」で「フラットベット」を選ぶ

いったん画像を確認する（プレスキャン）するとき→手順4へ
そのままスキャンするとき→手順6へ

4 ［プレビュー］をクリックする

◆ 低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

5 点線をドラッグしてスキャンする範囲を調節する

マウスの左ボタンで点線の側面または端をドラッグします。

6 スキャンする画像の種類や品質の項目を設定する

WIA ダイアログボックスの設定については、34ページをご覧ください。

7 ［スキャン］をクリックする

◆ **画像がスキャンされ、起動している「Presto!® PageManager®」に画像が表示されます。**

8 画像を保存する

操作の詳細については、「Presto!® PageManager®」の電子マニュアル（PDF 形式）をご覧ください。

ADF(自動原稿送り装置)から原稿をスキャンする(MFC-620CLN、MFC-5840CNのみ)

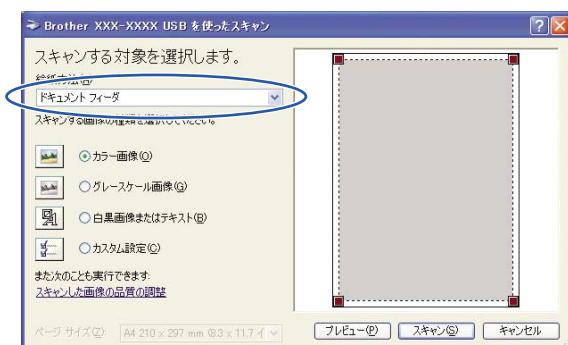
MFC-620CLN および MFC-5840CN には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されています。ADF を使用して複数枚の原稿をスキャンするときは、以下の手順で操作します。ここでは、「Presto!® PageManager®」でスキャンする場合について説明します。

1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

⇒ ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする（29 ページ）

2 初期画面の［スキャン］アイコン をクリックする

◆ WIA ダイアログボックスが表示されます。

3 「給紙方法」で「ドキュメントフィーダ」を選ぶ

4 スキャンする画像の種類、ページサイズ、品質の項目を設定する

WIA ダイアログボックスの設定については、34 ページをご覧ください。

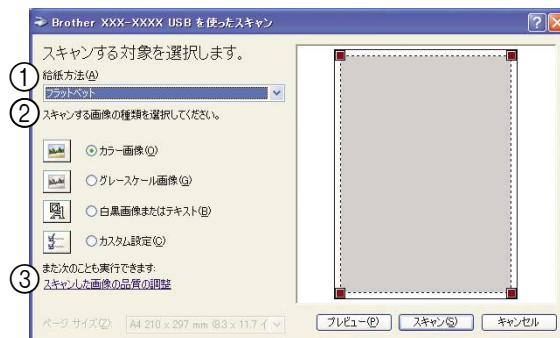
5 ［スキャン］をクリックする

◆ 画像がスキャンされ、起動している「Presto!® PageManager®」に画像が表示されます。

6 画像を保存する

操作の詳細については、「Presto!® PageManager®」の電子マニュアル（PDF 形式）をご覧ください。

WIA ダイアログボックスの設定について

WIA ダイアログボックスでは、以下の項目が設定できます。

① **給紙方法**

原稿のセット方法を「ドキュメントフィーダ」か「フラットベッド」から選びます。「ドキュメントフィーダ」を選んだ場合は、ページサイズを指定します。画像のプレビューやスキャンする範囲の調整はできなくなります。

② **画像の種類**

スキャンする画像の種類に応じて設定します。

設定	内容
カラー画像	カラーのとき選びます。
グレースケール画像	写真を含む原稿で微妙な表現を要求されるときに選びます。(モノクロ256階調でスキャンします。)
白黒画像またはテキスト	テキストや線画の場合に選びます。(モノクロ2階調でスキャンします。)
カスタム設定	スキャンする項目を自由に設定できます。

③ **スキャンした画像の品質の調整**

「スキャンした画像の品質の調整」をクリックすると、「詳細プロパティ」ウインドウが表示され、スキャンする画像の詳細設定を調整できます。

ⓐ **明るさ/コントラスト**

必要に応じてつまみを左右にドラッグし、明るさやコントラストを調節します。濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはコントラストを強くします。

ⓑ **解像度**

スキャンする解像度を選びます。解像度を高くするとデータの容量が大きくなりますが、より細かくスキャンされるので画像の質は向上します。解像度は、100、150、200、300、400、500、600、1200dpiから選べます。

■ 2400 / 4800 / 9600 / 19200dpi の解像度でスキャンするときは

Windows® XP で、2400 / 4800 / 9600 / 19200dpi の解像度を有効にするときは、「スキャナユーティリティ」を使って設定を変更します。(元に戻すこともできます。)「スキャナユーティリティ」は以下の方法で起動します。

(1) [スタート] メニューから [すべてのプログラム] ー [Brother] ー [(モデル名)] ー [スキャナユーティリティ] を選ぶ

◆「スキャナユーティリティ」が起動します。

> アプリケーションによっては、1200dpi 以上の解像度でのスキャンに対応していないことがあります。

■ TWAIN を使用してスキャンする

Windows® XP で TWAIN を使用するときは、「TWAIN ドライバ設定ツール」を使います。「TWAIN ドライバ設定ツール」は以下の方法で起動します。

(1) [スタート] メニューから [すべてのプログラム] ー [Brother] ー [(モデル名)] ー [TWAIN ドライバ設定ツール] を選ぶ

アプリケーションから直接スキャンする（Windows®98/98SE/Me/2000）

本機のドライバは TWAIN 対応です。ドライバにより、TWAIN 対応の他のアプリケーション（「Presto!® PageManager®」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。

「Presto!® PageManager®」の操作の詳細については、「Presto!® PageManager® ユーザーズマニュアル」をお読みください。
ユーザーズマニュアルは、［スタート］メニューから［プログラム］－［Presto!® PageManager® 6］－［Presto!® PageManager® 6.0 ユーザーズマニュアル］を選ぶと表示されます。

原稿をスキャンする

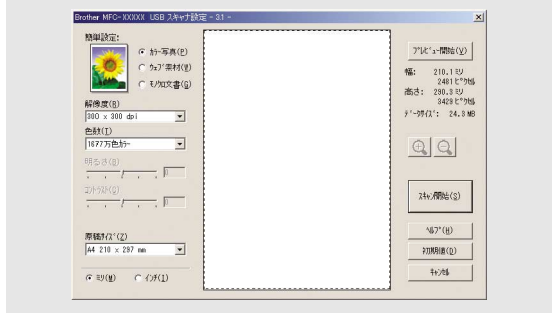
TWAIN 対応の他のアプリケーションから直接原稿をスキャンするときは、以下の手順で操作します。ここでは、「Presto!® PageManager®」でスキャンする場合について説明します。

注意

■ **あらかじめ、「Presto!® PageManager®」を起動させ、［ファイル］メニューの［TWAIN 対応機器の選択 ...］で、接続している本機の機種名を選んでおきます。**

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 初期画面の をクリックする

◆ **TWAIN ダイアログボックスが表示されます。**

いったん画像を確認（プレスキャン）するとき→手順 3 へ
そのままスキャンするとき→手順 5 へ

3 ［プレビュー開始］をクリックする

注意

■ **ADF（自動原稿送り装置）をお使いの場合、プレスキャンのため原稿が一度排出されます。スキャンするときは、原稿をセットし直してから［スキャン開始］をクリックします。**

◆ **低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。**

4 点線をドラッグして、スキャンする範囲を調節する

マウスの左ボタンで点線の側面または端をドラッグします。

5 解像度や明るさなどの項目を設定する

TWAIN ダイアログボックスの設定については、37 ページをご覧ください。

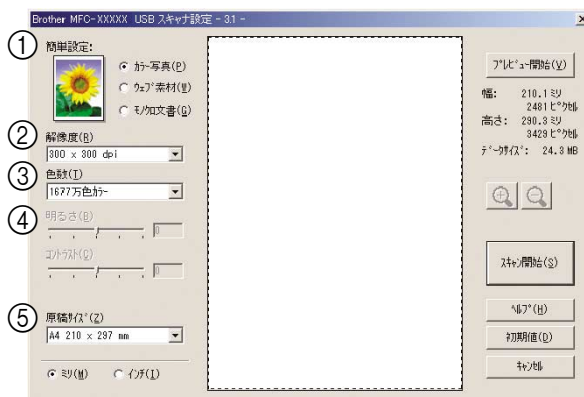
6 [スキャン開始] をクリックする

◆ 原稿がスキャンされ、起動している「Presto!® PageManager®」に画像が表示されます。

7 画像を保存する

操作の詳細については、「Presto!® PageManager®」の電子マニュアル（PDF 形式）またはヘルプを参照してください。

TWAIN ダイアログボックスの設定について

TWAIN ダイアログボックスでは、以下の項目が設定できます。

① **簡単設定（イメージタイプ）**

スキャンする原稿の種類や用途に応じて設定を選びます。選んだ設定に応じて、他の項目が最適に設定されます。

設定	内容
カラー写真	写真などのカラー原稿をスキャンするときに選びます。
ウェブ素材	スキャンした画像データをホームページに使用するときに選びます。
モノクロ文書	白黒の原稿をスキャンするときに選びます。

② **解像度**

スキャンする解像度を選びます。解像度を高くするとデータの容量が大きくなりますが、より細かくスキャンされるので画像の質は向上します。選べる解像度と指定可能な色数の対応は以下のとおりです。

解像度	白黒 / グレー / 256 階調グレー	256 色カラー	1677 万色カラー
100 × 100dpi	○	○	○
150 × 150dpi	○	○	○
200 × 200dpi	○	○	○
300 × 300dpi	○	○	○
400 × 400dpi	○	○	○
600 × 600dpi	○	○	○
1200 × 1200dpi	○	×	○
2400 × 2400dpi	○	×	○
4800 × 4800dpi	○	×	○
9600 × 9600dpi	○	×	○
19200 × 19200dpi	○	×	○

- 必要以上に解像度を高く設定すると、必要なハードディスクの空き容量もスキャンにかかる時間も増大します。適切な解像度を選んでください。
- 高い解像度でのスキャンは一般的に 600dpi 程度で十分ですが、上限は 2400dpi にすることをお勧めします。
- 4800dpi よりも高い解像度でスキャンするときは、スキャンする範囲を指定してください。

③ **色数**

取り込む色数を設定します。

設定	内容
白黒	文字原稿や線画原稿のスキャンに適しています。
グレー	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。このモードでは、黒い点を原稿の濃淡に応じ一定の規則で配置することで、原稿の濃淡を擬似的に表現する方式でスキャンします。
256 階調グレー	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。
256 色カラー	カラーイラストが含まれる原稿のスキャンに適しています。
1677 万色カラー	カラー原稿のスキャンに適しています。このモードでは、ブラザーカラーマッチング技術を利用するため、最良のスキャン結果を得ることができます。

④ **明るさ／コントラスト**

必要に応じてつまみを左右にドラッグして明るさやコントラストを調節します。濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはコントラストを強くします。

⑤ **原稿サイズ**

以下のいずれかのサイズを設定します。

設定	サイズ
A4	210 × 297mm
B5（JIS）	182 × 257mm
レター	8 1/2 × 11 in
リーガル	8 1/2 × 14 in
A5	148 × 210mm
エグゼクティブ	7 1/4 × 10 in
名刺	90 × 60mm
ポストカード	4 × 6 in
ハガキ	100 × 148mm
往復ハガキ	148 × 200mm
インデックスカード	5 × 8 in
L 判	89 × 127mm
2L 判	127 × 178mm
ユーザー定義サイズ（*）	

（*）「ユーザー定義サイズ」を選んだ場合は、「幅」と「高さ」を入力します。8.9 × 8.9mm から 215.9 × 297mm まで調整できます。MFC-620CLN 、MFC-5840CN は 215 × 355.6mm まで調整できます。

- ユーザー定義サイズを選んだあとでも、スキャンの範囲をさらに調整できます。マウスの左ボタンで、スキャン範囲の点線をドラッグします。
- 名刺をスキャンするときは、名刺サイズ（90 × 60mm ）の設定を選び、原稿台ガラスに名刺をセットしてください。

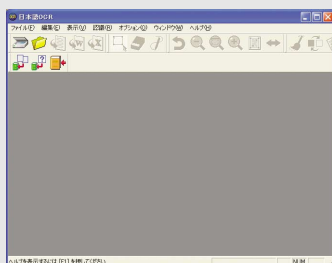
原稿の文字を修正できるようにスキャンする [Brother 日本語 OCR]

文字の入った原稿をスキャンして、テキストデータに変換します。変換されたテキストデータはパソコン上で文字を編集できるだけではなく、保存するデータ容量も小さくなります。ここでは Brother 日本語 OCR から操作する方法を説明します。

スキャンする原稿はできるだけ汚れなどの少ないきれいなものを使用してください。正しく文字が認識される確率が高くなります。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 [スタート] メニューから [すべてのプログラム（プログラム）] - [Brother OCR Ver.XXX] - [日本語 OCR] を選ぶ

◆ Brother 日本語 OCR が起動します。

3 をクリックする

◆ 原稿がスキャンされます。

4 をクリックする

◆ スキャンした画像から文字認識を行います。

■ スキャン済みのデータを使用するときは

手順 3 で をクリックして、画像データを選びます。

ネットワークスキャン機能を使う

ネットワークスキャン機能とは

本機でスキャンしたデータを、ネットワーク上のパソコンへ送ったり保存できる機能です。

注意

- ■ DCP-110C をお使いの場合は、ネットワークスキャン機能は使用できません。
- ■ あらかじめ本機の TCP/IP の設定が必要です。詳しくは、「ネットワーク設定説明書」をご覧ください。
  すでにネットワークプリンタとして機能している場合は、TCP/IP が正しく設定されているので、設定する必要はありません。

ネットワークスキャンを使用する前に

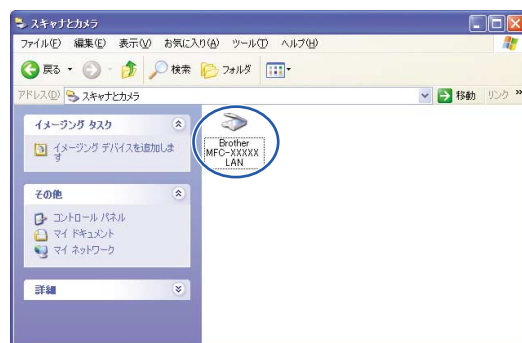
ネットワークスキャン機能を使う場合は、スキャンしたデータを保存するパソコンの名称（コンピュータ名）をあらかじめ登録する必要があります。「かんたん設置ガイド」に記載されているインストール作業を行うと、保存するパソコンはドライバをインストールしたパソコンに設定されています。このまま使用する場合は操作する必要はありません。
IP アドレスを変更したり、登録したパソコンの名前を変える場合には、以下の手順で操作してください。

1 コントロールパネルを表示する

- Windows®XP の場合
  ［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックします。
- Windows®98/98SE/Me/2000 の場合
  ［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］をクリックします。

2 ［スキャナとカメラ］をダブルクリックする

◆「スキャナとカメラのプロパティ」が表示されます。

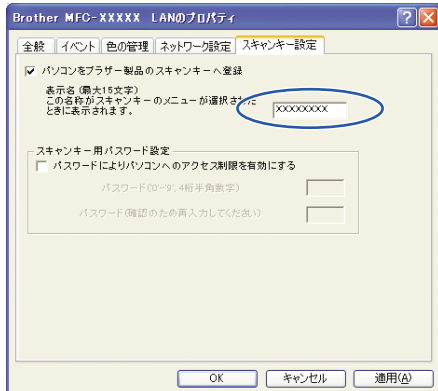
3 接続している本機の機種名をクリックして選ぶ

4 右クリックして表示されるメニューから［プロパティ］を選ぶ

◆ プロパティダイアログボックスが表示されます。

5 ［ネットワーク設定］タブで項目を設定する

- IP アドレスを変更する場合は、新しい IP アドレスを入力します。
- 本機の名称を変更する場合は、「ノード名」に新しい名称を入力します。
- 使用できる機器の一覧を検索してから設定する場合は、［検索］をクリックして該当する製品名を探すこともできます。

6 「スキャンキー設定」タブをクリックする

7 データを保存するパソコンの名称を変更する

8 ［OK ］をクリックする

◆ 設定が変更されます。

■ スキャンした画像データの保存に制限をつけたいときは

スキャンした画像データをパソコンに保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。

「スキャンキーのパスワード設定」で 4 桁の数字をパスワードとして登録します。

Windows®

第 3 章 PC-FAX

PC-FAX を使う前に

PC-FAX を利用すると、パソコン上のアプリケーションで作成したファイルを、ファクスとして送信できます。また、送付書を添付して送ることもできます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクスの送信先を簡単に設定できます。（48 ページ）また、個人情報を登録しておくと、ファクスや送付書に自分の名前や電話番号を自動的に入れることができます。

注意

- DCP-110C をお使いの場合は、PC-FAX 機能は使用できません。
- Windows® 2000/XP をお使いの場合は、Administrator 権限でログオンしてください。
- PC-FAX ご利用中はリモートセットアップ（64 ページ）の操作はできなくなります。

個人情報を登録する

ファクスのヘッダーと送付書に挿入される個人情報を設定します。

1 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム（プログラム）] - [Brother] - [（モデル名）] - [PC-FAX 設定] を選ぶ

◆「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

2「個人情報」タブをクリックし、個人情報を入力する

3 [OK] をクリックする

◆ 個人情報が保存されます。

送信の設定をする

ファクス送信に必要な設定をします。

1 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム（プログラム）] - [Brother] - [（モデル名）] - [PC-FAX 設定] を選ぶ

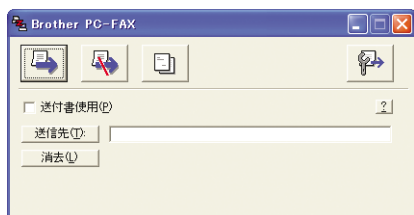
◆「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

2「送信」タブをクリックし、送信に関する設定をする

① **ダイヤル設定**
外線への接続に必要な番号がある場合に入力します。この番号は、PBX やビジネスホンへ接続した環境で必要になる場合があります。本機を単独で電話回線に接続する場合、入力は必要ありません。

② **ヘッダー**
送信するファクスの先頭にヘッダー情報を追加する場合は、このチェックボックスを ON にします。

③ 送信操作画面

「シンプルスタイル」か「ファクススタイル」のどちらかを選びます。

＜シンプルスタイル＞

＜ファクススタイル＞

3 [OK] をクリックする

◆ 送信設定が保存されます。

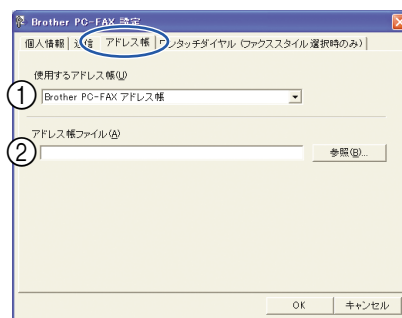
アドレス帳を設定する

相手先のファクス番号をPC-FAXアドレス帳に登録しておくと、送信先を簡単に指定できます。ここでは、使用するアドレス帳を設定します。

> 「Brother PC-FAX アドレス帳」をご利用の場合は、あらかじめアドレス帳を作成しておく必要があります。（48 ページ）

1 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム（プログラム）] - [Brother] - [（モデル名）] - [PC-FAX 設定] を選ぶ

◆「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

2 [アドレス帳] タブをクリックし、アドレス帳に関する設定をする

① 使用するアドレス帳

送信先を設定したり、ワンタッチダイヤルの設定をするときに使用するアドレス帳を選びます。
通常は「BrotherPC-FAX アドレス帳」を選びますが、OutlookExpress のアドレス帳を利用する場合は、「OutlookExpress アドレス帳」を選びます。

② アドレス帳ファイル

ファイルのパスと名前を入力するか、[参照] をクリックしてファイルを選びます。

3 [OK] をクリックする

◆ PC-FAX で使用するアドレス帳が設定されます。

パソコンからファクスを送る

パソコン上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信します。あらかじめ送信の設定（45 ページ）で選んだ「ファクススタイル」または「シンプルスタイル」のどちらかの画面で送信します。

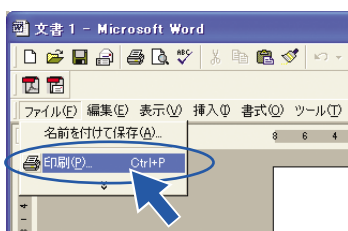
注意

■ PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。（カラーのデータを送信すると、相手側のファクシミリがカラーに対応している場合でもモノクロで送信されます。）

ファクススタイルでファクスを送る

送信の設定（45 ページ）で送信操作画面を「ファクススタイル」に設定しているときは以下の手順で送信します。

1 パソコン上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

2 アプリケーションで [ファイル] メニューから [印刷] を選ぶ

3 「プリンタ名」で「Brother PC-FAX」を選び、[OK] をクリックする

◆ ファクス送信画面が表示されます。

4 ファクス番号を入力する

ファクス番号は以下の方法で入力できます。

- ダイヤルパッドをクリックする
- ワンタッチダイヤルボタンをクリックする
- [アドレス帳] をクリックし、アドレス帳から選ぶ
- [再ダイヤル] をクリックし、最近送った送付先から選ぶ

- 「ワンタッチダイヤルボタン」や「アドレス帳」を使うには、あらかじめ PC-FAX アドレス帳でファクス番号を登録しておく必要があります。（48 ページ）
- ファクス番号を間違えて入力したときは、[消去] をクリックして入力し直します。
- [再ダイヤル] をクリックすると、最近送った相手先が、新しい順に 5 件表示されます。
- 送付書を付ける場合は、送付書使用ボタンをクリックして黄色に点灯させます。付けない場合はもう一度クリックして消灯させます。送付書を編集・作成する手順については、54 ページをご覧ください。
- OutlookExpress のアドレス帳のデータを使用することもできます。（45 ページ）

5 [送信] をクリックする

◆ ファクスが送信されます。

■ 送るのをやめるときは

（1） [中止] をクリックする

◆ 送信が中止されます。

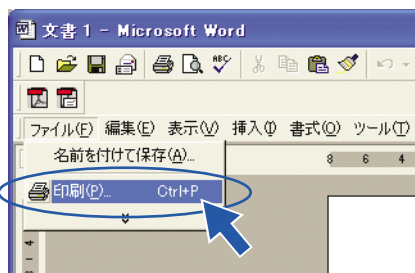
シンプルスタイルでファクスを送る

送信の設定（45 ページ）で送信操作画面を「シンプルスタイル」に設定しているときは以下の手順で送信します。

注意

■「シンプルスタイル」の送信操作画面では、ワンタッチダイヤルは使用できません。

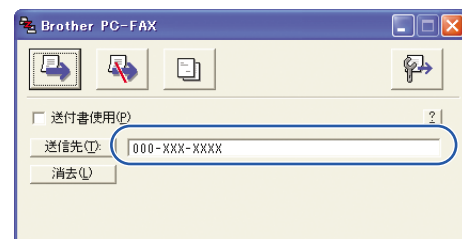
1 パソコン上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

2 アプリケーションで [ファイル] メニューから [印刷] を選ぶ

3 「プリンタ名」で「Brother PC-FAX」を選び、[OK] をクリックする

◆ ファクス送信画面が表示されます。

4 [送信先] にファクス番号を入力する

ファクス番号は以下の方法で入力できます。

・ キーボードから番号を入力する
・ [送信先] をクリックし、アドレス帳から選ぶ

- 「アドレス帳」を使うには、あらかじめ PC-FAX アドレス帳でファクス番号を登録しておく必要があります。（48 ページ）
- ファクス番号を間違えて入力したときは、[消去] をクリックして入力し直します。
- 送付書を付ける場合は、「送付書使用」を ON にします。付けない場合はもう一度クリックして消灯させます。送付書を編集・作成する手順については、54 ページをご覧ください。
- OutlookExpress のアドレス帳のデータを使用することもできます。（45 ページ）

5 をクリックする

◆ ファクスが送信されます。

PC-FAX アドレス帳を利用する

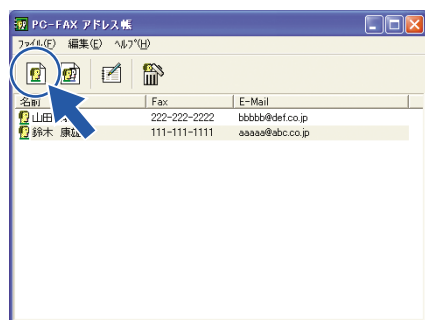
PC-FAX を使うときは、PC-FAX アドレス帳に相手先のファクス番号を登録しておくと送信先を簡単に指定できます。PC-FAX アドレス帳データは、CSV 形式などで抽出（エクスポート）、読み込み（インポート）できるので、他のアプリケーションで使っているアドレス帳データも活用できます。また、ファクスを送るときは、送付書を添付することもできます。

PC-FAX アドレス帳に相手先を登録する

PC-FAX アドレス帳に送信先を登録します。

1 **[スタート] メニューから、[すべてのプログラム（プログラム）] - [Brother] - [（モデル名）] - [PC-FAX アドレス帳] を選ぶ**

◆ PC-FAX アドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 **をクリックする**

◆ 相手先を登録する画面が表示されます。

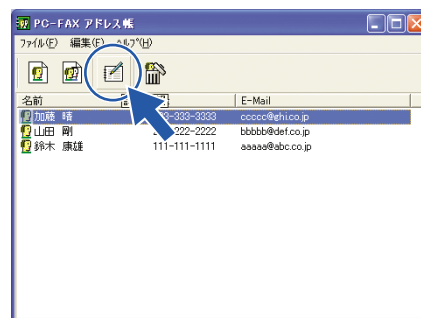
3 **相手先の情報を入力する**

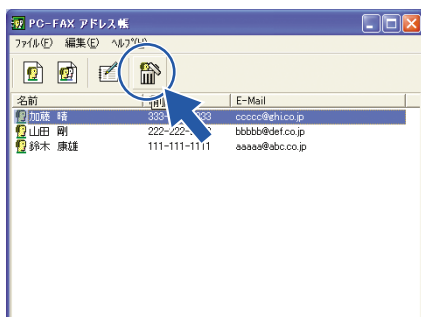
「名前」は必ず入力します。

4 **[決定] をクリックする**

◆ 相手先の情報がPC-FAXアドレス帳に保存されます。

■ PC-FAX アドレス帳の登録情報を修正する

修正したい相手先をクリックし、 をクリックします。登録情報を設定する画面が表示されるので、情報を修正します。

■ PC-FAX アドレス帳の登録情報を削除する

(1) 削除したい相手先をクリックし、 をクリックする

◆ 削除を確認するメッセージが表示されます。

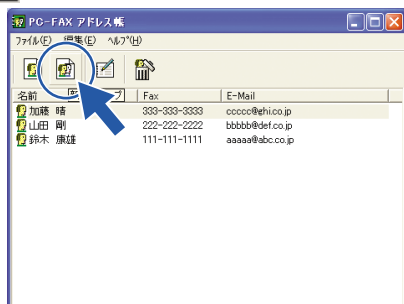
(2) [OK] をクリックする

◆ 相手先が削除されます。

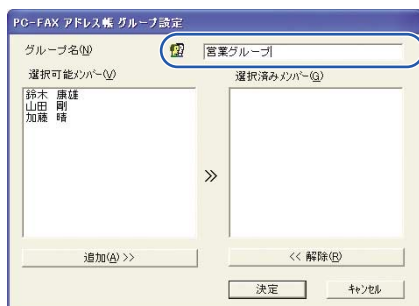
グループダイヤルに相手先を登録する

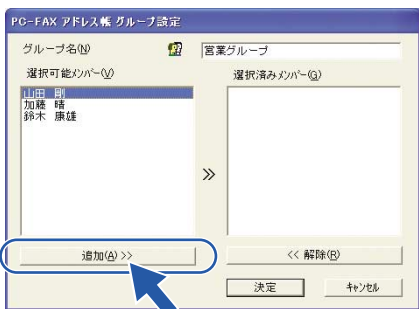
同じ内容のファクスを複数の相手先に何度も送信するときは、相手先を「グループ」として登録しておくと便利です。送信先として「グループ」を指定することで、一度の操作でグループに登録された複数の相手先にファクスを送ることができます。

1 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム（プログラム）] - [Brother] - [（モデル名）] - [PC-FAX アドレス帳] を選ぶ

◆ PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 をクリックする

◆ グループを登録する画面が表示されます。

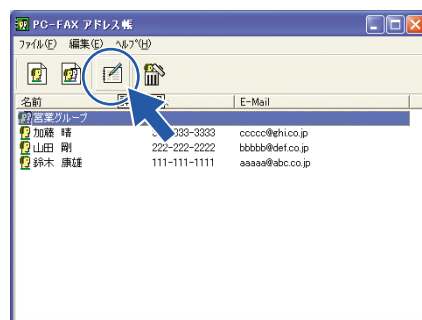
3 グループ名を入力する

4 「選択可能メンバー」に表示されている相手先から、グループとして設定したい相手先を選び、[追加] をクリックする

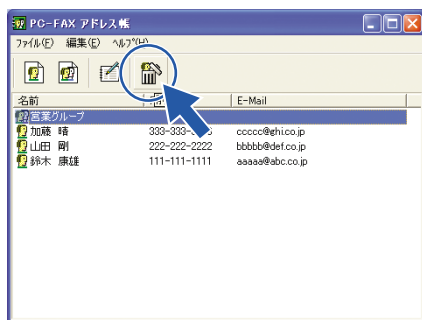
グループに登録したいメンバーについてこの操作を繰り返します。

◆ 選んだ相手先がグループのメンバーとして「選択済みメンバー」に表示されます。

5 [決定] をクリックする

◆ グループの設定がPC-FAXアドレス帳に登録されます。

■ グループの登録情報を修正する

情報を修正したいグループをクリックし、 をクリックします。登録情報を設定する画面が表示されるので、情報を修正します。

■ グループの登録情報を削除する

(1) 削除したいグループをクリックし、 をクリックする

◆ 削除を確認するダイアログボックスが表示されます。

(2) [OK] をクリックする

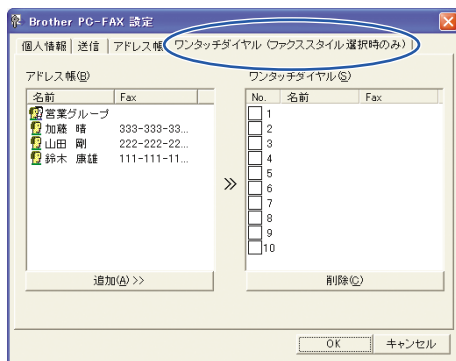
◆ グループの設定が削除されます。（グループに登録されている個々の相手先の情報は削除されません。）

ワンタッチダイヤルに相手先を登録する

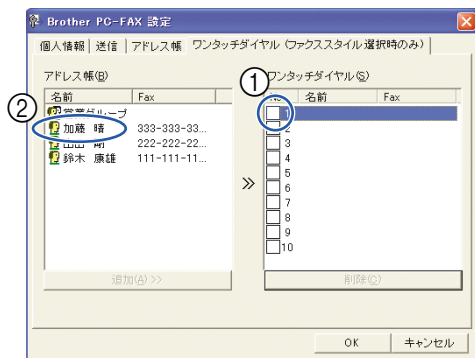
PC-FAX アドレス帳に登録した相手先やグループは、「ワンタッチダイヤル」として 10 件まで登録できます。よく使う相手先などを登録しておくと、ファクスの送信先を簡単に指定できます。

1 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム（プログラム）] - [Brother] - [（モデル名）] - [PC-FAX 設定] を選ぶ

◆ PC-FAX を設定する画面が表示されます。

2 [ワンタッチダイヤル] タブをクリックする

◆ ワンタッチダイヤルを登録する画面が表示されます。

3 「ワンタッチダイヤル」の登録したいダイヤル番号をクリックする

ワンタッチダイヤルの番号をクリックし（①）、アドレス帳から登録する名前をクリックして（②）選びます。

4 [追加] をクリックする

登録したいワンタッチダイヤルについて、手順 3、4 の操作を繰り返します。

5 [OK] をクリックする

◆ ワンタッチダイヤルの設定がアドレス帳に保存されます。

■ ワンタッチダイヤルの設定を削除する

(1) 「ワンタッチダイヤル」に登録されている相手先をクリックする

(2) [削除] をクリックする

アドレス帳をエクスポートする

PC-FAX で設定したアドレス帳は、CSV 形式のファイル、または「Vcard」としてエクスポートすることができます。

「Vcard」は、異なるプログラム、異なるハードウェアの間で使用できる「電子名刺」です。「Vcard」の情報は、拡張子「.vcf」のファイルとして保管されます。E メールで個人情報をやり取りするために規格化された情報で、E メールの添付ファイルの機能を拡張し、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りすることができます。

■ CSV 形式のファイルでエクスポートする

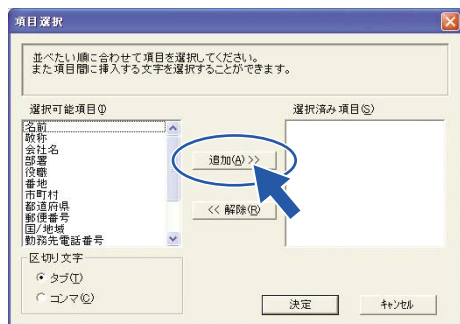
1 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム（プログラム）] - [Brother] - [（モデル名）] - [PC-FAX アドレス帳] を選ぶ

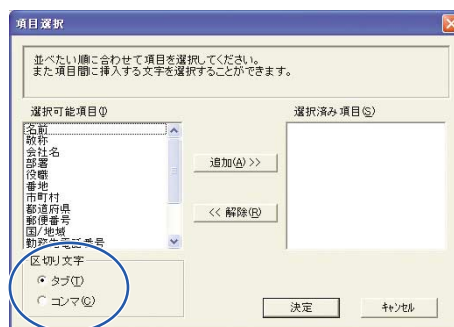
◆ PC-FAX アドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 [ファイル] メニューから、[エクスポート] - [Text] を選ぶ

◆ 相手先を登録する画面が表示されます。

3 エクスポートしたい項目を選び、[追加] をクリックする

追加したい項目について、この操作を繰り返します。

4 「区切り文字」を選ぶ

エクスポートされた項目の間が、「タブ」または「コンマ」のどちらで区切られるかを選びます。

5 [決定] をクリックする

6 ファイル名を入力し、[保存] をクリックする

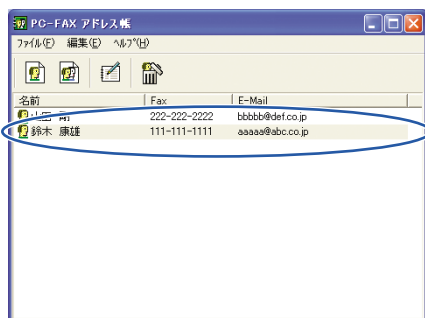
◆ PC-FAX アドレス帳のデータが CSV 形式で保存されます。

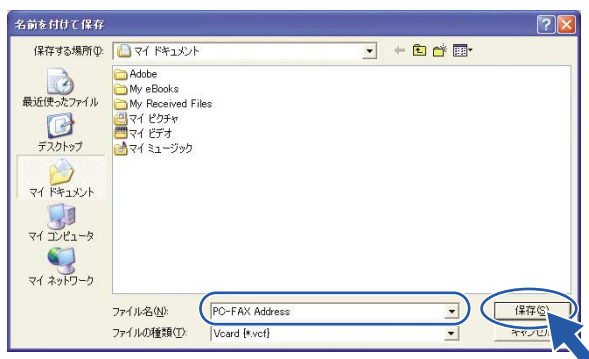
■ Vcard（vcf 形式）でエクスポートする

1 **[スタート] メニューから、[すべてのプログラム（プログラム）] - [Brother] - [（モデル名）] - [PC-FAX アドレス帳] を選ぶ**

◆ PC-FAX アドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 **エクスポートしたい相手先をクリックする**

追加したい相手先について、この操作を繰り返します。

3 **[ファイル] メニューから、[エクスポート] - [Vcard] を選ぶ**

4 **ファイル名を入力し、[保存] をクリックする**

◆ PC-FAX アドレス帳のデータが vcf 形式で保存されます。

アドレス帳をインポートする

PC-FAX で設定するアドレス帳は、CSV 形式のファイル、または「Vcard」をインポートすることができます。

■ CSV 形式のファイルをインポートする

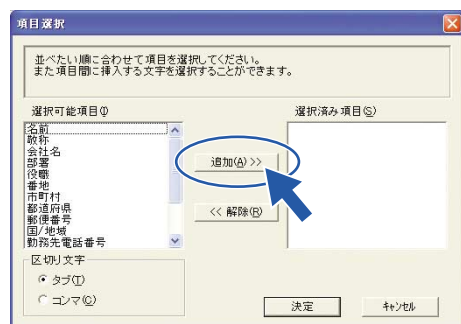
1 **[スタート] メニューから、[すべてのプログラム（プログラム）] - [Brother] - [（モデル名）] - [PC-FAX アドレス帳] を選ぶ**

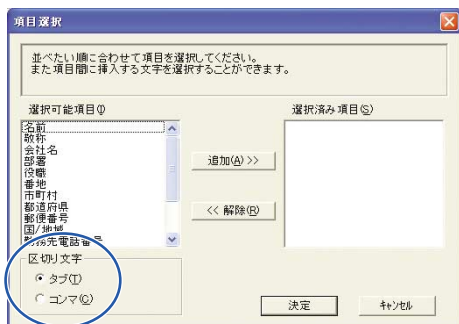
◆ PC-FAX アドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 **[ファイル] メニューから、[インポート] - [Text] を選ぶ**

◆ 相手先を登録する画面が表示されます。

3 **インポートしたい項目を選び、[追加] をクリックする**

追加したい項目について、この操作を繰り返します。

4 **「区切り文字」を選ぶ**

インポートしたいファイルで使用されている区切り文字を、「タブ」または「コンマ」から選びます。

5 **[決定] をクリックする**

6 **ファイルを選び、[開く] をクリックする**

◆ 選んだ CSV 形式のデータが PC-FAX アドレス帳に追加されます。

■ Vcard（vcf 形式）のファイルをインポートする

1 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] - [Brother] - [（モデル名）] - [PC-FAX アドレス帳] を選ぶ

◆ PC-FAX アドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 [ファイル] メニューから、[インポート] - [Vcard] を選ぶ

3 ファイルを選び、[開く] をクリックする

◆ 選んだ vcf 形式のデータがPC-FAX アドレス帳に追加されます。

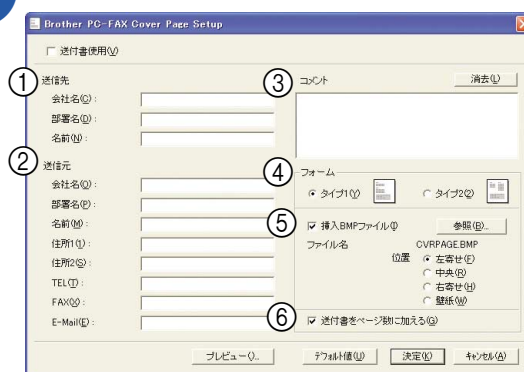
送付書を作成する

PC-FAX では、ファクスを送信するときに「送付書」を添付できます。

1 ファクス送信画面で、[送付書マーク] をクリックする

＜シンプルスタイル＞　＜ファクススタイル＞

◆ 送付書を設定する画面が表示されます。

2 送付書の情報を入力する

① **送信先**
送信先の情報を入力します。相手先がグループのときは、送付書には印刷されません。

② **送信元**
送信元の情報を入力します。「個人情報」(44 ページ) が設定されているときは自動的に引用されます。

③ **コメント**
送付書に追加するコメントを入力します。

④ **フォーム**
送付書のスタイルを選びます。

⑤ **挿入 BMP ファイル**
会社のロゴなどのビットマップファイルを送付書に挿入する場合にチェックボックスをONにします。
[参照] をクリックして BMP ファイルを選び、ビットマップファイルの配置を選びます。
使用するビットマップファイルは 2 値化したデータをお勧めします。

⑥ **送付書をページ数に加える**
このチェックボックスを ON にすると、送付書がファクスの送付枚数に含まれます。チェックボックスを OFF にすると、送付書は送付枚数に含まれません。

ファクスをパソコンで受ける

受信したファクスメッセージを画像データとしてパソコンに保存します。

注意

- ファクスを受信したとき、パソコンの電源が入っていなかったりつながっていなかったときは、本機に記憶させておくことができます。
- 本機をネットワークにつないでお使いの場合、パソコンでファクスを受信することはできません。
- PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。（カラーファクスを受信すると、データはパソコンに転送されず本機で印刷されます。）

本機を PC-FAX 受信モードにする

1 機能/確定   **を押す**

◆ メモリー受信の設定画面が表示されます。

2 ▲▼ **で「PC ファクス ジュシン」を選び、** 機能/確定 **を押す**

3 ▲▼ **で本機でも印刷するかしないかを選び、** 機能/確定 **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

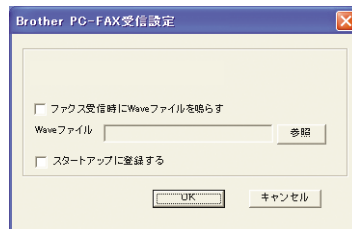
本機の設定方法について、詳しくは取扱説明書の「パソコンでファクスを受信する」をご覧ください。

PC-FAX 受信を起動する

1 [スタート] メニューから [すべてのプログラム（プログラム）] - [Brother] - [(モデル名)] - [PC-FAX 受信] を選ぶ

◆ タスクトレイに PC-FAX のアイコンが表示されます。

6:43 PM

受信したときの内容を設定する場合は、タスクトレイの PC-FAX アイコン を右クリックして「受信設定」を選びます。

設定できる内容は以下のとおりです。

- ファクス受信時に Wave ファイルを鳴らす：
  着信音を鳴らすときはチェックボックスを ON にします。着信音にする Wave ファイルも指定します。
- スタートアップに登録する：
  パソコンを起動したときに自動的に PC-FAX 受信も起動するときはチェックボックスを ON にします。

受信したときは

PC-FAX を受信すると、タスクトレイの PC-FAX アイコンが赤と青交互に点滅します。

1 をダブルクリックする

◆「Presto!® PageManager®」が起動します。

2 「Faxes」フォルダを開く

◆ 受信日時がファイル名として表示されます。

3 ファイル名をダブルクリックして内容を確認する

受信したファクスを一度確認すると、緑に戻ります。

Windows®

第４章 フォトメディアキャプチャ

フォトメディアキャプチャを使う前に

本機では、カードスロットにセットしたメモリーカードを、パソコン上で「リムーバブルディスク」として使うことができます。

注意

- メモリーカードは正しくフォーマットされたものをお使いください。
- デジタルカメラなどと共有するメモリーカードは、必ずデジタルカメラなどでフォーマットしてください。
- デジカメプリントとパソコンからのメモリーカードの操作は同時にできません。必ず、どちらかの作業が終わってから操作してください。
- Windows®XP では、メモリーカードにボリュームラベル名を付けると、その名称で表示されます。
- パソコンを起動・再起動するときは、本機のカードスロットからメモリーカードを抜いてください。
- 本機がフォトメディアキャプチャを使用して印刷している間、ネットワークメディアカードアクセスは使えません。

使用できるメモリーカード

本機では、下記のメモリーカードを使用できます。

注意

- 本機に対応しているスマートメディア®は 3.3V 専用です。（5V タイプは使用できません。）
- マイクロドライブには対応していません。
- マジックゲート TM 対応のメモリースティックの場合、保存されている音楽データを読み込むことはできません。
- 2 つかまたは 3 つのメモリーカードを同時に挿入しても、最初に挿入したカードしか読み込みません。ほかのカードにアクセスするには、メモリーカードをすべて抜いてからアクセスしたいカードのみを挿入します。

● コンパクトフラッシュ®
（TYPE1、最大 2GB）

● メモリースティック®（最大 128MB）
メモリースティック Pro（最大 1GB）

※ マジックゲートTMメモリースティック、メモリースティック Duo、メモリースティック Pro デュオも使用できます。
※ メモリースティック Duo、メモリースティック Pro デュオを本機にセットするときは、アダプターが必要です。
※ マジックゲート機能（著作権保護機能）はご利用いただけません。

● スマートメディア®
（3.3V 最大 128MB）

● xD- ピクチャーカード TM
（最大 512MB ）

● SD メモリーカード TM
（最大 512MB）

※ miniSD メモリーカード TM を本機にセットするときはアダプターが必要です。

メモリーカードをセットする

1 本機のカードスロットにメモリーカードを差し込む

メモリーカードは、正しいカードスロットにしっかりと差し込んでください。

◆ が点灯します。

注意

- デジカメプリント が点滅しているときは、電源コードを抜いたり、メモリーカードの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードを壊す恐れがあります。
- カードスロットには、メモリーカード以外のものを差し込まないでください。内部を壊す恐れがあります。

■ メモリーカードのアクセス状況

デジカメプリント の表示で、メモリーカードのアクセス状況がわかります。

点灯	メモリーカードが正しく差し込まれています。このときは、メモリーカードを取り出すことができます。
点滅	読み取り、または書き込みが行われています。このときはメモリーカードにさわらないでください。
消灯	メモリーカードが差し込まれていません。または、メモリーカードが正しく差し込まれていないため、本機に認識されていません。

- 複数のメモリーカードを差し込んだ場合は、先に差し込んだメモリーカードだけを認識します。
- メモリーカードが認識されないときは、記録した機器に戻して確認してください。

パソコンからメモリーカードを使う

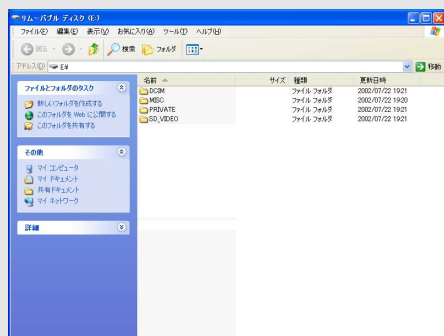
メモリーカードにアクセスする

カードスロットにセットしたメモリーカードを、パソコン上で「リムーバブルディスク」として使います。

1 メモリーカードを本機にセットする

⇒「メモリーカードをセットする」（59 ページ）

2 ［マイコンピュータ］の［リムーバブルディスク］アイコンをダブルクリックする

◆ メモリーカードに保存されているファイルやフォルダが表示されます。

3 ファイルを編集する

ファイルを表示したり、パソコンへコピーしたりできます。

メモリーカードにネットワーク経由でアクセスする

本機に挿入したメモリーカードに、ネットワークを経由してアクセスし、ファイルを表示したりコピーしたりできます。

注意

- DCP-110C をお使いの場合は、この機能は使用できません。
- ファイルの書き込み、修正はできません。
- ネットワーク経由で他のパソコンがメモリーカードにアクセスしているときは、同時にアクセスできません。
- メモリーカードに保存されたデータを印刷しているときは、アクセスできません。

1 メモリーカードを本機にセットする

⇒「メモリーカードをセットする」（59 ページ）

2 Windows® のデスクトップ上にある「ネットワークメディアカードアクセス」アイコンをダブルクリックする

◆ メモリーカードの内容がリスト表示されます。

InternetExplorer などの Web ブラウザを起動し、アドレス欄に「ftp://(本機の IP アドレス)」を入力してもアクセスできます。

メモリーカードを取り出す

メモリーカードを取り出すときは、メモリーカードを損傷しないよう、以下の手順で取り出します。

1. **メモリーカードを参照しているWindows® のエクスプローラなどをすべて閉じる**

2. **[マイコンピュータ] の [リムーバブルディスク] アイコンを右クリックする**

3. **[取り出し] を選ぶ**

◆ 本機の デジカメプリント が点滅することがあります。（点滅しなくても異常ではありません。）

4. **本機の デジカメプリント が点滅していないことを確認し、そのまま引き抜く**

注意

■ 本機がメモリーカードを読み込んでいるとき（デジカメプリント 点滅中）は、電源コードや USB ケーブルを抜いたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。データが読めなくなったり、メモリーカードが損傷を受けることがあります。

■ 誤って デジカメプリント が点滅中にメモリーカードを取り出した場合は、パソコンをすぐに再起動した後、メモリーカードを挿入してください。パソコンを再起動する前に他のメモリーカードを挿入すると、データが破壊されることがあります。

Windows®

第 5 章 リモートセットアップ

リモートセットアップを利用する

リモートセットアップとは

本機に対する機能設定は操作パネル上のナビゲーションキーとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使うと、パソコン上で簡単に行うことができます。
リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

注意

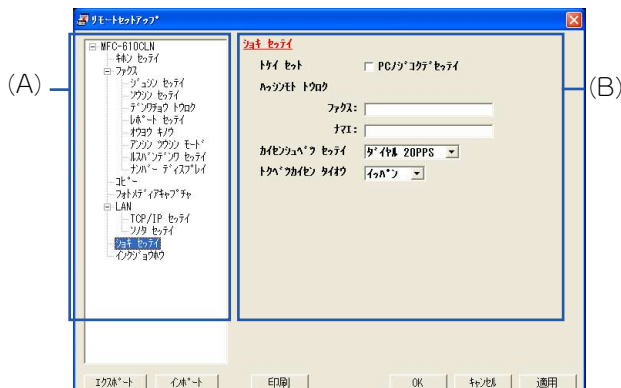
- DCP-110C をお使いの場合は、この機能は使用できません。
- リモートセットアップを使うには、お使いのパソコンにドライバをインストールする必要があります。インストールのしかたについては、かんたん設置ガイドをお読みください。
- リモートセットアップを使うには、USB ケーブルで本機をパソコンに接続する必要があります。
- リモートセットアップ画面を開いているときは、本機で他の操作をすることができません。
- 本機の操作パネルから機能の設定や登録をしているときは、リモートセットアップ機能は使用できません。
- PC-FAX ご利用中はリモートセットアップの操作はできません。PC-FAX を終了させてから操作してください。

本機の設定をパソコンから変更する

リモートセットアップを使って本機の設定を変えるときは、以下の手順で操作します。

1 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム（プログラム）] - [Brother] - [（モデル名）] - [リモートセットアップ] を選ぶ

注意

- 本機に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。

2 左側（A）から設定したい項目を選び、右側（B）の項目を設定する

3 設定し終わったら、[OK] をクリックする

◆ 設定内容が本機に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

リモートセットアップは、ControlCenter2.0 からも実行できます。

■ その他の操作について

リモートセットアップの設定では、設定内容をファイルとして保存したり、印刷したりすることができます。

① **エクスポート**

現在の設定内容をファイルに保存します。

② **インポート**

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ **印刷**

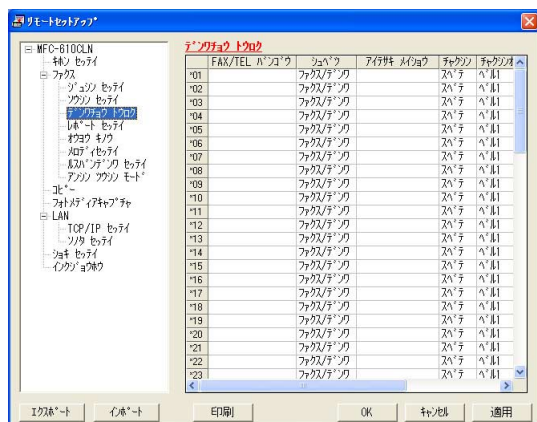
「設定内容リスト」を印刷できます。ただし、本機に送信する前は印刷できないため、[適用] をクリックして新しいデータを送信してから、[印刷] をクリックしてください。

④ **OK**

設定した内容を本機に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。
送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、[OK] をクリックしてください。

⑤ **キャンセル**

設定した内容を本機に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ **適用**

設定した内容を本機に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

■ インク残量を確認する

左側の画面で「インクジョウホウ」を選ぶと、本機のインク残量が確認できます。

本機の電話帳を作成・変更する

リモートセットアップを使って電話帳の登録、編集ができます。

■ 電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号（ファクス番号）と名称を、2 桁の短縮番号（最大 80 件）に登録します。

1 左側から「デンワチョウ トウロク」を選ぶ

◆ 電話帳登録の画面が表示されます。

2 登録する短縮番号の行にある「FAX/TEL バンゴウ」に電話またはファクス番号を入力する

3 種別で「ファクス / デンワ」を選ぶ

4 「アイテサキ メイショウ」に相手先の名前を入力する

5 グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 3 に登録する場合は、「G3」を ON にします。

6 ［OK］をクリックする

◆ 設定した内容が本機に送信され、リモートセットアップが終了します。

■ 電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。グループは 6 つまで登録できます。

1 左側から「デンワチョウ トウロク」を選ぶ

◆ 電話帳登録の画面が表示されます。

2 種別でグループを選ぶ

グループ番号は「1 ～ 6」から選びます。
例）ここでは「グループ 2」を選びます。

3 「アイテサキ メイショウ」にグループ名を入力する

4 グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 2 に登録する場合は、「G2」を ON にします。

5 ［適用］をクリックする

◆ グループダイヤルが登録されます。

Windows®

第 6 章 便利な使い方（ControlCenter2.0）

ControlCenter2.0 とは

本機を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本機が持つスキャナ、PC-FAX、フォトメディアキャプチャなどの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter2.0 の基本操作

ControlCenter2.0 では、本機で利用できるさまざまな機能をボタンをクリックするだけで呼び出せます。
ControlCenter2.0 の画面が表示されたら、以下の手順で機能を選びます。

1.モデル名を選ぶ

ネットワーク接続などで複数の機器が接続されているときは、操作するモデル名を選びます。

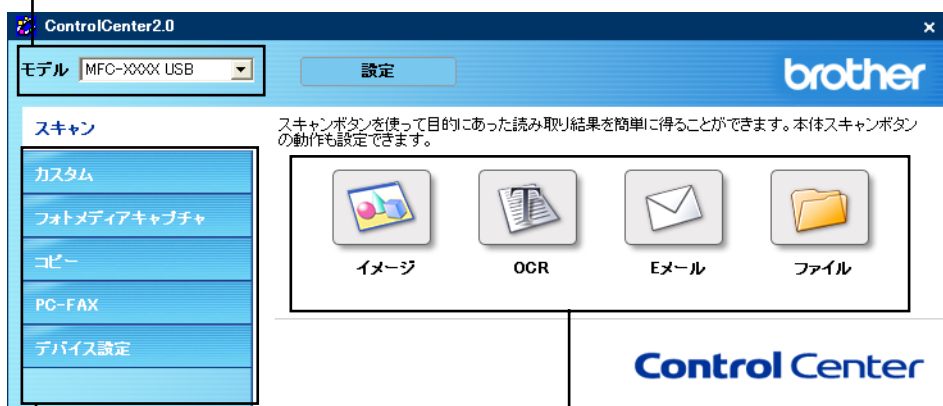
2. 機能タブをクリックする

スキャン、PC-FAXなど機能の種類を選びます。
お使いのモデルによって表示されるタブの数は変わります。

3. 使用する機能のボタンをクリックする

機能タブを選んで表示されるボタンから使用したい項目を選びます。設定されたソフトウェアや設定画面が起動し、機能が実行されます。
お使いのモデルによって表示されるボタンの数は変わります。

［設定］をクリックして表示されるメニューを使用すると、タブの表示内容に関係なく各項目の設定画面を表示できます。

使用できる機能

ControlCenter2.0 画面の左側には、機能の種類別にタブが表示されます。それぞれのタブでできることは以下のとおりです。

スキャン

使用する目的に応じて原稿をスキャンします。画像データとして保存したり、テキストデータを抜き出したり、E メールにデータを添付することができます。（70 ページ）

カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を 4 つまで登録できます。（71 ページ）

フォトメディアキャプチャ

本機にセットしたメモリーカードをパソコンから確認したり、データを印刷できます。（72 ページ）

コピー

原稿をコピーします。コピー時の設定を 4 つまで登録できます。（74 ページ）

PC-FAX

スキャンしたデータを本機を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、内容を確認することもできます。（75 ページ）

デバイス設定

インク残量を確認したり、リモートセットアップを使って本機の設定を確認できます。（76 ページ）

ControlCenter2.0
モデル MFC-XXXX USB
スキャン
カスタム
フォトメディアキャプチャ
コピー
PC-FAX
デバイス設定

ControlCenter2.0 を起動する

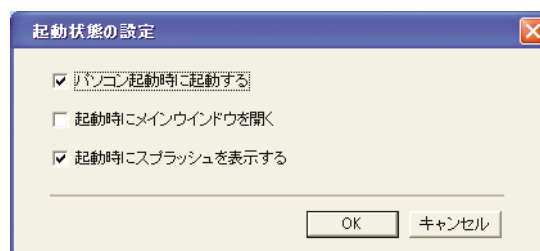
1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［（モデル名）］-［ControlCenter2.0］を選ぶ

◆ ControlCenter2.0 のウィンドウが開き、タスクトレイに が表示されます。

■ 起動時の動作を設定する

パソコンを起動したとき、ControlCenter2.0 も同時に起動させることができます。

(1) タスクトレイの を右クリックし、［起動状態の設定］を選ぶ

◆「起動状態の設定」ダイアログボックスが表示されます。

(2) 起動時の動作を選ぶ

- パソコン起動時に起動する：
  ControlCenter2.0 が起動し、タスクトレイで待機します。
- パソコン起動時にウィンドウを開く：
  ControlCenter2.0 が起動し、ウィンドウを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する：
  起動時にスプラッシュ画面を表示します。

(3) ［OK］をクリックする

スキャン

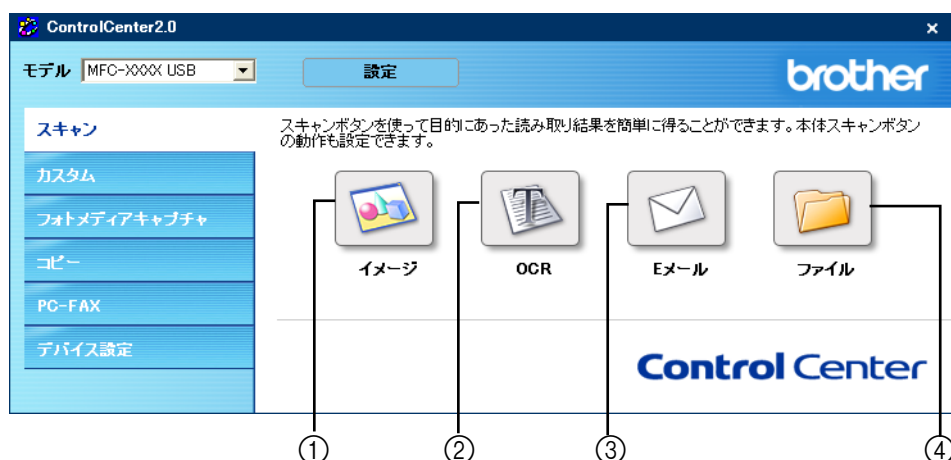
使用する目的に応じて、データをスキャンします。本機のスキャンボタンの動作も設定できます。

① **イメージ**
原稿をスキャンして、任意のアプリケーションで開きます。

② **OCR**
文字の入った原稿をスキャンして、パソコンで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

③ **E メール**
スキャンした原稿を添付ファイルにして、メールの送信画面を起動します。

④ **ファイル**
原稿をスキャンして、すぐにパソコンの指定したフォルダに保存します。ファイルはビットマップ（*.BMP）、JPEG(*.JPG)、TIFF(*.TIFF)、PNG(*.PNG)、PDF（*.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

■ スキャンの設定を変更する

起動するアプリケーションやスキャン時の設定は、以下の手順で変更できます。

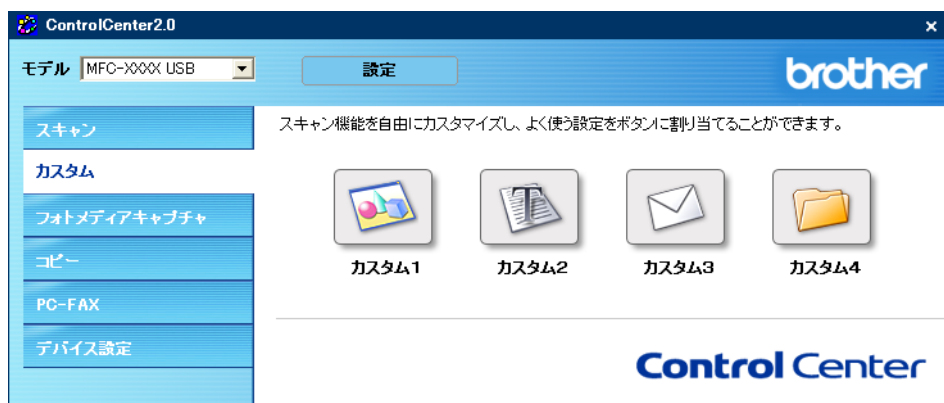
(1) 各ボタンを右クリックして表示されるメニューから［設定］を選ぶ

(2) 「ControlCenter の設定」タブをクリックし、内容を設定する

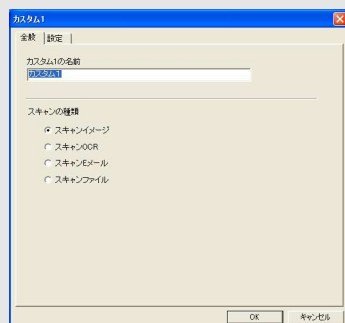
例）「イメージ」の場合

「本体スキャンボタンの設定」タブをクリックすると、本機のスキャンボタンからスキャンする動作を設定できます。

カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を 4 つまで登録できます。

■ よく使う設定を登録する

1 ボタンを右クリックして［設定］を選ぶ

◆「カスタム」ダイアログボックスが表示されます。

2 「カスタムの名前」に名前を入力する

3 スキャンの種類を選ぶ

スキャンの種類は「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」から選びます。

4 「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定する

5 ［OK］をクリックする

◆ 設定した内容で登録されます。

■ スキャンを実行する

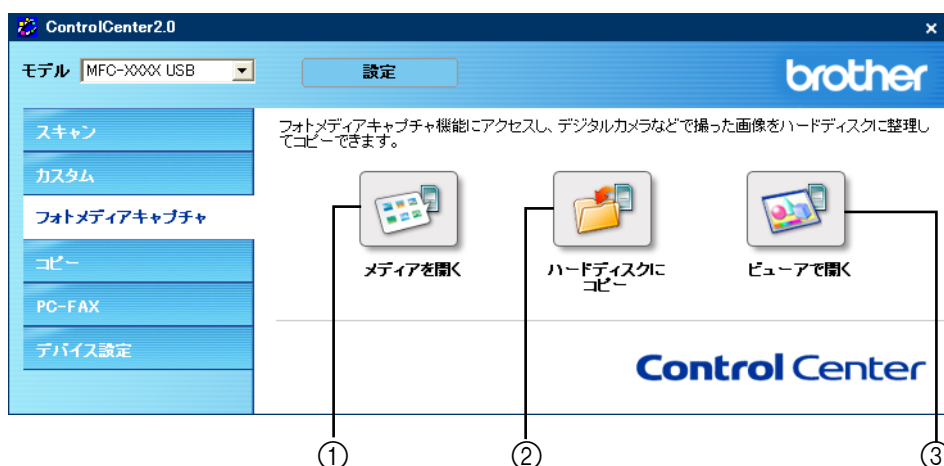
1 原稿をセットして設定したボタンをクリックする

◆ 設定に従ってスキャンが実行されます。

フォトメディアキャプチャ

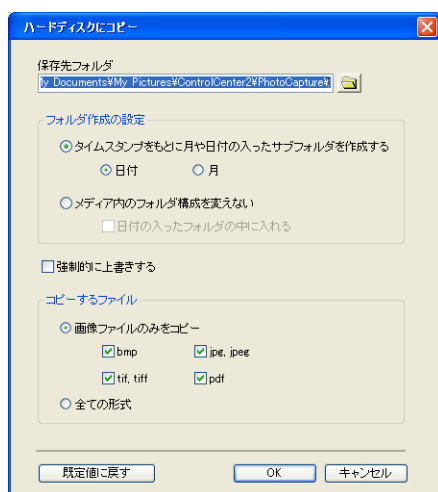
本機にセットしたメモリーカード内のファイルを確認したり、パソコンへコピーしたりできます。

注意

■ **ControlCenter2.0 を使ってフォトメディアキャプチャの機能を使うには、USB ケーブルで本機をパソコンに接続する必要があります。**

① **メディアを開く**

メモリーカードにどのようなデータが記録されているか、確認できます。

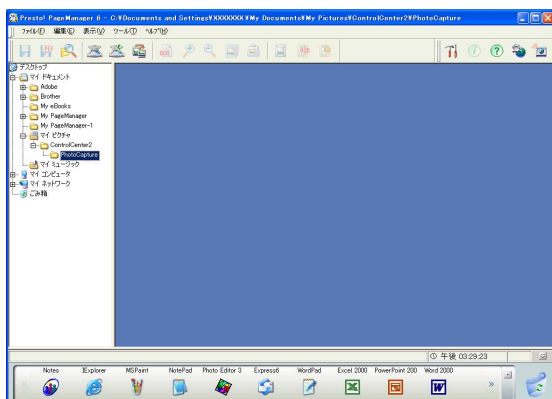
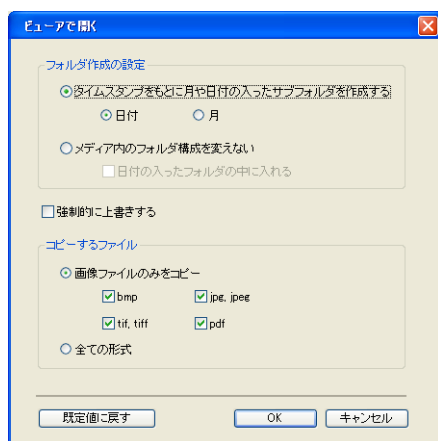
② **ハードディスクにコピー**

メモリーカードのデータを、パソコンの指定したフォルダにコピーします。コピー先のフォルダやコピー時の設定を変更したいときは、ボタンを右クリックして表示されるメニューから［設定］を選びます。

お買い上げ時の設定では、「保存先フォルダ」で指定したフォルダの中に新しいフォルダを作成し、その中にファイルをコピーします。このとき、フォルダ名は、メモリーカード内のファイルの日付を元に付けられます。

例） メモリーカード内のファイルの日付が、2004 年 10 月 8 日の場合は、「041008」という名前のフォルダが作成され、その中にメモリーカード内のファイルがコピーされます。

「メディア内のフォルダ構成を変えない」を選んだ場合は、「保存先フォルダ」で指定したフォルダの中に直接ファイルがコピーされます。「日付の入ったフォルダの中に入れる」のチェックボックスを ON にすると、コピー時の日付でフォルダを作成し、その中にファイルをコピーします。

③ ビューアで開く

メモリーカードのデータを指定したフォルダにコピーし、Presto!®PageManager® で開きます。

コピー先のフォルダやコピー時の設定を変更したいときは、ボタンを右クリックして表示されるメニューから［設定］を選びます。

保存先フォルダの初期設定は以下のとおりです。

- 保存先フォルダ
  マイドキュメント ¥ マイピクチャ ¥ControlCenter2¥PhotoCapture

  マイピクチャフォルダがない場合は、「マイドキュメント ¥ ControlCenter2¥PhotoCapture」となります。

- フォルダ名：yymmdd

  yy：西暦の下 2 桁

  mm：月

  dd：日

お買い上げ時の設定では、保存先フォルダの中に新しいフォルダを作成し、その中にファイルをコピーします。このとき、フォルダ名は、メモリーカード内のファイルの日付を元に付けられます。

例）メモリーカード内のファイルの日付が、2004 年 10 月 8 日の場合は、「041008」という名前のフォルダが作成され、その中にメモリーカード内のファイルがコピーされます。

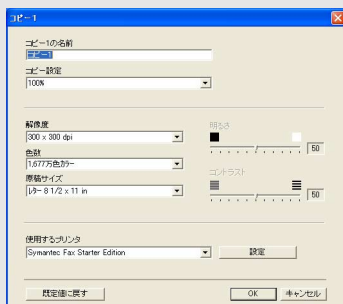
「メディア内のフォルダ構成を変えない」を選んだ場合は、「保存先フォルダ」で指定したフォルダの中に直接ファイルがコピーされます。「日付の入ったフォルダの中に入れる」のチェックボックスを ON にすると、コピー時の日付でフォルダを作成し、その中にファイルをコピーします。

コピー

原稿をコピーします。コピー時の設定を 4 つまで登録できます。

■ コピーの設定を登録する

1 ボタンを右クリックして［設定］を選ぶ

◆「コピー」ダイアログボックスが表示されます。

2 「コピーの名前」に名前を入力する

3 「コピー設定」を選ぶ

「コピー設定」は、「用紙サイズに合わせる」または「100%」から選びます。

4 他の項目を必要に応じて設定する

5 ［OK］をクリックする

◆ 設定した内容で登録されます。

■ コピーを実行する

1 原稿をセットして設定したボタンをクリックする

◆ 設定に従ってコピーが実行されます。

PC-FAX

スキャンしたデータを本機を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、パソコンで内容を確認することもできます。

注意

■ DCP-110C をお使いの場合、この機能は使用できません。

① PC-FAX 送信

スキャンしたデータを PC-FAX 送信します。

> PC-FAX 送信の操作については、「パソコンからファクスを送る」（46 ページ）をご覧ください。

② PC-FAX 受信を起動

ファクスをパソコンで受信するときにクリックします。

ファクスを受信すると、ボタンが に変わります。

> PC-FAX 受信の操作については、「ファクスをパソコンで受ける」（55 ページ）をご覧ください

③ PC-FAX アドレス帳

PC-FAX アドレス帳に相手先を登録します。

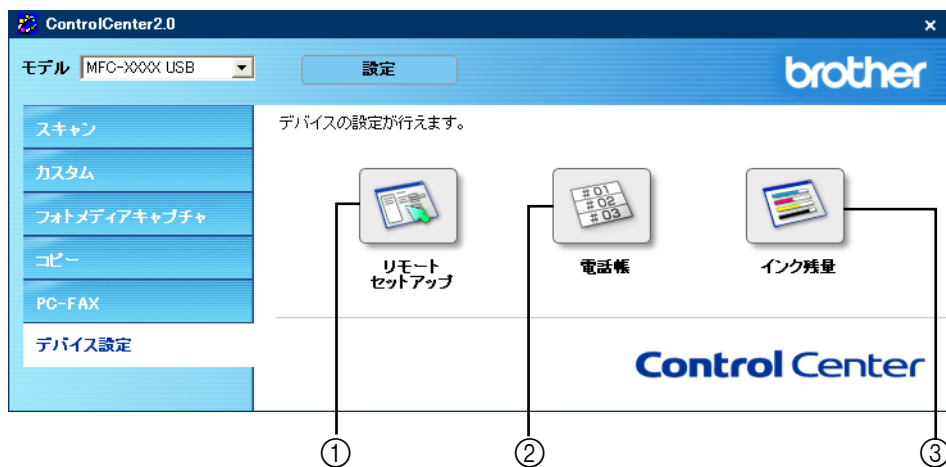
> PC-FAX アドレス帳の操作については、「PC-FAX アドレス帳を利用する」（48 ページ）をご覧ください。

④ PC-FAX 設定

PC-FAX を送信するとき、ファクスのヘッダや送信者名に挿入される個人情報を登録、編集します。

> 個人情報の登録については、「個人情報を登録する」（44 ページ）をご覧ください。

デバイス設定

インク残量を確認したり、リモートセットアップを使って本機の設定を確認できます。

① **リモートセットアップ**
パソコン上で本機に関する機能設定ができます。

- リモートセットアップについては、「リモートセットアップ」（64 ページ）をご覧ください。
- DCP-110C をお使いの場合は、このボタンは表示されません。

② **電話帳**
本機の電話帳の登録、編集作業ができます。

- 電話帳の操作については、「本機の電話帳を作成、変更する」（66 ページ）をご覧ください。
- DCP-110C をお使いの場合は、このボタンは表示されません。

③ **インク残量**
本機のインク残量を確認できます。

- インク残量の確認については、「印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニター）」（10 ページ）をご覧ください。

Macintosh®

第1章 プリンタ

Macintosh® でできること

お使いのOSによって、本機で使用できる機能は異なります。

機能 ＼ OS	8.6	9.x	10.2.4以降
プリンタ	○	○	○
スキャナ	×	○	○
PC-FAX送信	○	○	○
Presto!® PageManager®	○	○	○
リモートセットアップ	×	×	○
ControlCenter2.0	×	×	○
フォトメディアキャプチャ	○（＊）	○	○

（＊）この機能を使用するには、あらかじめアップルコンピュータ社のホームページから「USB Mass Storage Support 1.3.5」をダウンロードし、インストールする必要があります。

プリンタとして使う前に

ドライバをインストールする必要があります

本機をプリンタとして使うには、付属の CD-ROM の中にあるプリンタドライバをインストールする必要があります。

パソコンとの接続や、ドライバのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

こんなことができます

本機は、高品質のインクジェットプリンタとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でもパソコンからのデータを印刷できます。
ネットワーク環境ではネットワークプリンタとして使用できます。

以下に、プリンタとしての特長を説明します。

● ハイスピード印刷 「高速」モードを使うことで 1 分間に最高 15 枚のフルカラー印刷/20 枚のモノクロ印刷ができます。印刷時間は印刷する内容によって違います。	● 1200 × 6000dpi 出力 特殊コーティング紙や光沢紙に高解像度 1200 × 6000dpi で印刷します。	● 経済的な印刷コスト なくなったカラーのインクカートリッジだけ交換することができ、経済的です。
● 多彩な記録紙対応 本機は普通紙、インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルム、はがき、および封筒に対応します。 (ラベル紙には対応していません。)	● USB(Universal Serial Bus)に対応 本機の USB ポートはコンピュータとの通信に対応します。	● 画質強調 本機は印刷する画像に対して、より鮮やかに、よりシャープに補正を加えることができます。また、この設定はカスタマイズも可能です。

本機では、双方向印字と片方向印字が選べます。片方向印字のほうが高画質ですが、印刷スピードは遅くなります。

記録紙について

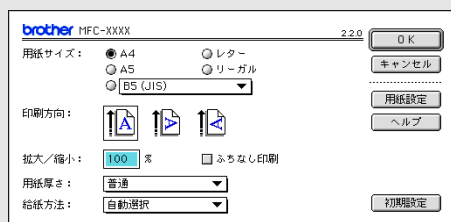
本機をプリンタとして使う場合の記録紙については、取扱説明書「記録紙のセット」をご覧ください。

印刷する　[Mac OS 8.6 ～ 9.2]

1 アップルメニューから［セレクタ］を選び、［Brother Ink］をクリックする

2 右側に表示された本機のモデル名をクリックし、セレクタを閉じる

3 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［用紙設定］を選ぶ

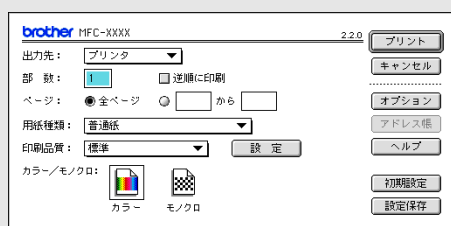
◆ 用紙設定画面が表示されます。

4 各項目を設定し、[OK] をクリックする

以下の項目が設定できます。

・ 用紙サイズ
・ 印刷方向
・ 拡大／縮小
・ ふちなし印刷
・ 用紙厚さ

◆ 設定した内容が有効になります。

5 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

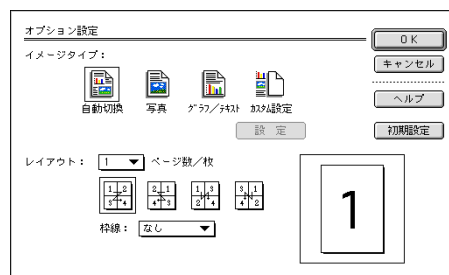
◆ 印刷設定画面が表示されます。

6 各項目を設定する

以下の項目が設定できます。

・ 部数
・ ページ
・ 用紙種類
・ 印刷品質
・ カラー／モノクロ

お買い上げ時の設定に戻す場合は、[初期設定] をクリックしてから [設定保存] をクリックします。

[オプション] をクリックすると、以下の項目を設定できます。設定を変更するときは、[オプション] をクリックして設定を変更し、[OK] をクリックします。

・ イメージタイプ
・ カスタム設定
・ レイアウト

7 [プリント] をクリックする

◆ ファイルが印刷されます。

◆ 次回の印刷から設定した内容で印刷されます。

■ ファクスを送信中に印刷する

ファクスを送信しているときや原稿をスキャンしている間も、印刷をすることができます。

印刷時に設定できる項目について詳しくは、Windows® 編（13 ページ）をご覧ください。

印刷する [Mac OS X 10.2.4 以降]

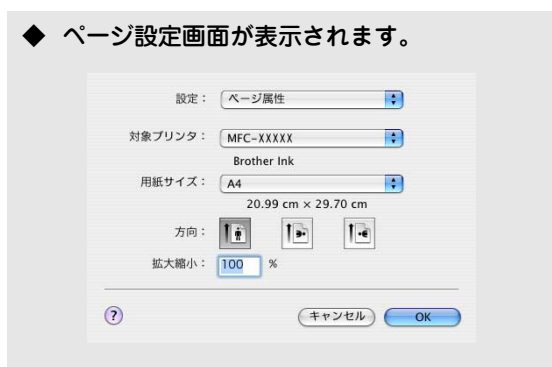
本機をプリンタとして使うときは、あらかじめプリントセンターで「デフォルトにする」と設定し、印刷します。

注意

■ Mac OS X 10.2 をお使いの場合は、Mac OS X 10.2.4 以降にアップグレードしてください。

1 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[ページ設定]を選ぶ

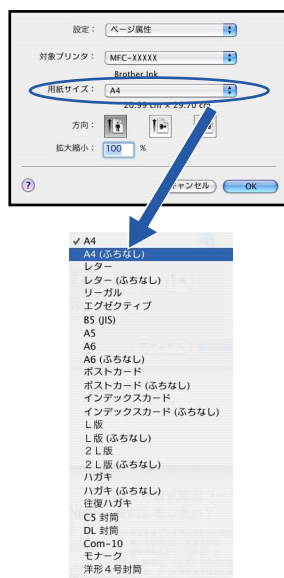
「対象プリンタ」に本機のモデル名が表示されていることを確認します。

◆ ページ設定画面が表示されます。

2 各項目を設定し、[OK]をクリックする

以下の項目が設定できます。

- 用紙サイズ
- 方向
- 拡大縮小

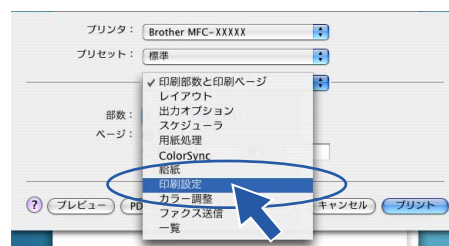
◆ 設定した内容が有効になります。

ふちなし印刷を行う場合は、用紙サイズの中から（ふちなし）を選びます。

3 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[プリント]を選ぶ

「プリンタ」に本機のモデル名が表示されていることを確認します。以下の項目が設定できます。

- 部数
- ページ

◆ 印刷設定画面が表示されます。

4 ポップアップメニューから「印刷設定」を選ぶ

◆ 印刷設定画面が表示されます。

各項目を設定する

以下の項目が設定できます。

- 印刷品質
- 用紙種類
- 用紙の厚さ
- カラー／モノクロ
- 双方向印刷
- 左右反転

◆ **設定した内容が有効になります。**

6 [プリント]をクリックする

◆ **ファイルが印刷されます。**
◆ **次回の印刷から設定した内容で印刷されます。**

■ ファクスを送信中に印刷する

ファクスを送信しているときや原稿をスキャンしている間も、印刷をすることができます。

> 印刷時に設定できる項目について詳しくは、Windows® 編（13 ページ）をご覧ください。

メモリーに残っているデータを消す

何らかの理由で印刷を中断したとき、本機のメモリーに印刷のデータが残っていることがあります。液晶ディスプレイに「データガノコッテイマス」と表示されている場合、残っているデータを消します。

停止/終了 を押す

◆ **メモリーに残っているデータが削除されます。**

印刷品質をチェックする

きれいに印刷されないときは、印刷品質をチェックしてください。詳しくは、取扱説明書「印刷品質をチェックする」をご覧ください。

ジョブをキャンセルする

処理中のジョブをキャンセルして、メモリーからデータを消します。

停止/終了 を押す

◆ **印刷がキャンセルされます。**

第２章 スキャナ

スキャナとして使う前に

ドライバをインストールする必要があります

本機をスキャナとして使用する場合は、付属のCD-ROMに収録されているドライバをインストールする必要があります。また、スキャナを便利に使いこなすためにPresto!® PageManager® の使用をお勧めします。Presto!® PageManager® を使用すると、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

- ドライバやソフトウェアのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をお読みください。
- 「Presto!® PageManager®」に関する詳細は、ソフトウェアに付属の電子マニュアルを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は以下のとおりです。

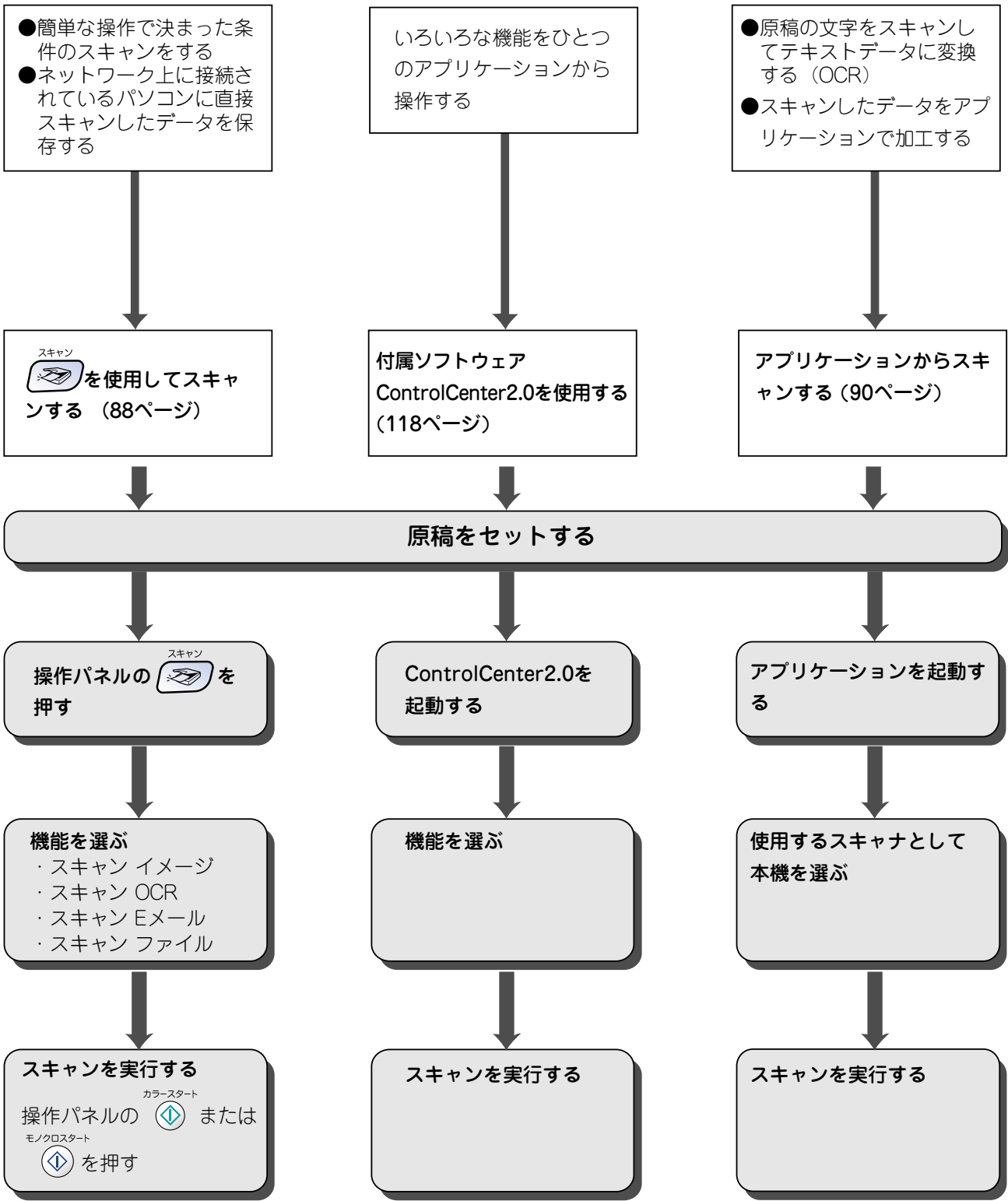
  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008 、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00 ～ 12：00 、13：00 ～ 17：00 （土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：support@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/

- TWAINとは、スキャナなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナやグラフィックソフトウェアがTWAINに対応しています。

注意

■ **Mac OS 8.6をお使いの場合は、この機能は使用できません。**

スキャン方法を選ぶ

本機を使ってスキャンするとき、目的に応じてスキャンの方法や使用するアプリケーションを使い分けてください。

原稿をセットする

セットできる原稿

原稿台には、最大厚さ 30mm、最大重量 2kg までの原稿をセットできます。

注意

■ インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

原稿の読み取り範囲

原稿台に A4 サイズの原稿をセットした場合の最大読み取り範囲は下記のようになります。

原稿台ガラスに原稿をセットする

原稿台ガラスの原稿ガイドに合わせて、原稿をセットします。

1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイドの「▶」マークに原稿上端の中央を合わせ、原稿を裏向きにセットする

3 原稿台カバーを閉じる

本などの厚みのある原稿のときは、上から軽く押さえてください。

注意

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開いたままスキャンを実行すると、画像が黒くなることがあります。

■ 原稿台カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。また、強く押さえないでください。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする（MFC-620CLN、MFC-5840CN のみ）

MFC-620CLN および MFC-5840CN には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されています。複数枚の原稿をスキャンするときは、ADF に原稿をセットすると便利です。

1 原稿をそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む

MFC-620CLN の場合は 10 枚、MFC-5840CN の場合は 35 枚まで一度にセットできます。

〈MFC-620CLN〉
スキャンしたい面を下にします。

〈MFC-5840CN〉
スキャンしたい面を上にします。原稿を図のようにそろえてください。

2 幅のガイドを原稿の幅に合わせる

本機のスキャンボタンからスキャンする

操作パネルの を使ってスキャンする方法を説明します。

原稿をスキャンする

原稿をスキャンして、ファイルとしてパソコンに保存します。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 **を押す**

◆ 機能を選ぶ画面が表示されます。

スキャン：▲▼デ センタク

3 で、「スキャン イメージ」を選び、 を押す

4 でスキャンした画像データを保存するパソコンの名前（コンピュータ名）を選ぶ

本機がネットワークに接続されていない場合、手順 4 の操作は必要ありません。

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、< USB >を選びます。

パソコンにパスワードが設定されている場合は、パソコンの名前（コンピュータ名）を選んだ後に、パスワードを入力します。

5 カラースタート または モノクロスタート を押す

◆ 原稿がスキャンされます。

◆ ControlCenter2.0 で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。

原稿の文字を修正できるようにスキャンする

文字の入った原稿をスキャンして、パソコンで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 **を押す**

◆ 機能を選ぶ画面が表示されます。

スキャン：▲▼デ センタク

3 で、「スキャン OCR」を選び、 を押す

4 でスキャンした画像データを保存するパソコンの名前（コンピュータ名）を選ぶ

本機がネットワークに接続されていない場合、手順 4 の操作は必要ありません。

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、< USB >を選びます。

パソコンにパスワードが設定されている場合は、パソコンの名前（コンピュータ名）を選んだ後に、パスワードを入力します。

5 カラースタート または モノクロスタート を押す

◆ 原稿がスキャンされます。

◆ ControlCenter2.0 の設定に従って文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。

スキャンした画像を指定したフォルダに保存する

原稿をスキャンしてパソコンの指定したフォルダに保存します。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

◆ 機能を選ぶ画面が表示されます。

スキャン：▲▼デ センタク

3 ▲▼で、「スキャン ファイル」を選び、機能/確定 を押す

4 ▲▼でスキャンした画像データを保存するパソコンの名前（コンピュータ名）を選ぶ

本機がネットワークに接続されていない場合、手順 4 の操作は必要ありません。

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、< USB >を選びます。

パソコンにパスワードが設定されている場合は、パソコンの名前（コンピュータ名）を選んだ後に、パスワードを入力します。

5 カラースタート または モノクロスタート を押す

◆ 原稿がスキャンされます。

◆ ControlCenter2.0 で設定されている保存先に、指定したファイル形式でデータが保存されます。

スキャンした画像を E メールで送る

スキャンした画像を添付ファイルにして、メールの送信画面を起動します。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

◆ 機能を選ぶ画面が表示されます。

スキャン：▲▼デ センタク

3 ▲▼で、「スキャン E メール」を選び、機能/確定 を押す

4 ▲▼で画像データを添付ファイルとして送信するメールソフトのあるパソコンの名前（コンピュータ名）を選ぶ

本機がネットワークに接続されていない場合、手順 4 の操作は必要ありません。

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、< USB >を選びます。

パソコンにパスワードが設定されている場合は、パソコンの名前（コンピュータ名）を選んだ後に、パスワードを入力します。

5 カラースタート または モノクロスタート を押す

◆ 原稿がスキャンされます。

◆ スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ControlCenter2.0 で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先のメールアドレスを入力します。

■ ControlCenter2.0 からスキャン時の設定を変更する

スキャン を使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2.0 から変更できます。詳しくは、118 ページをご覧ください。

アプリケーションから直接スキャンする

本機のドライバは TWAIN 対応です。ドライバにより、TWAIN 対応の他のアプリケーション（Presto!® PageManager® や Adobe® Photoshop® など）で、画像を直接スキャンできます。

スキャンするときは、以下の手順で操作します。ここでは、「Presto!® PageManager®」でスキャンする場合について説明します。

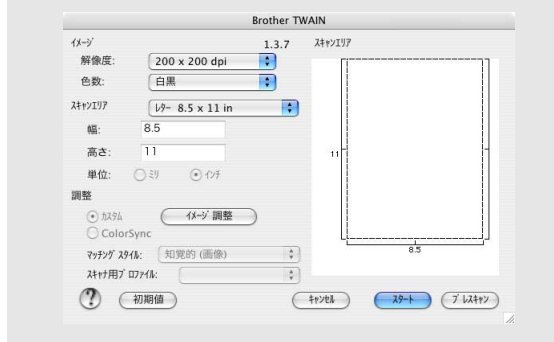
注意

- あらかじめ、TWAIN 対応のアプリケーション（Presto!® PageManager® や Adobe® Photoshop® など）を起動させ、[ファイル] メニューの [TWAIN 対応機器の選択…] で、「Brother TWAIN」を選んでおきます。

1 Presto!® PageManager® を起動する

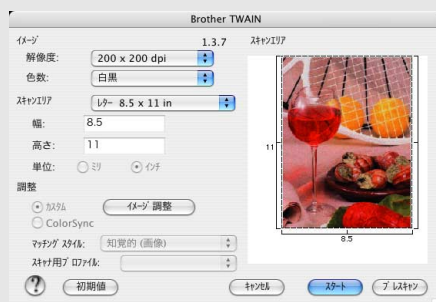
2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 [ファイル] メニューから [取り込み] を選ぶ

◆ TWAIN ダイアログボックスが表示されます。

4 [プレスキャン] をクリックする

注意

- ADF（自動原稿送り装置）をお使いの場合、プレスキャンのため原稿が一度排出されます。スキャンするときは原稿をセットし直してから［スタート］をクリックします。

◆ 低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

5 点線をドラッグして、実際にスキャンする範囲を調節する

マウスで点線の側面または端をドラッグします。

6 解像度や明るさなどの項目を設定する

設定項目の詳細については、91 ページをお読みください。

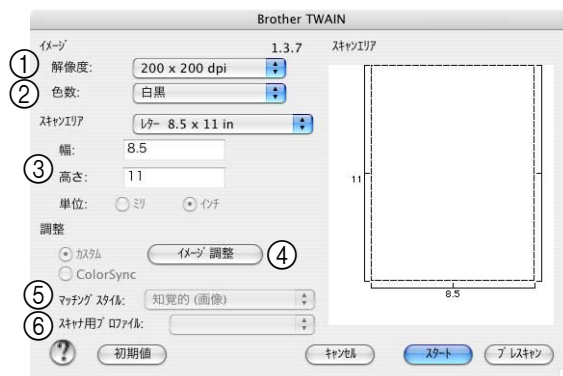
7 [スタート] をクリックする

◆ 原稿がスキャンされ、起動している Presto!® PageManager® に画像が表示されます。

8 画像を保存する

操作の詳細については、Presto!® PageManager® の電子マニュアル（PDF 形式）またはヘルプを参照してください。

TWAIN ダイアログボックスの設定について

スキャナウインドウでは、以下の項目が設定できます。

① 解像度

スキャンする解像度を選びます。解像度を高くするとデータの容量が大きくなりますが、より細かくスキャンされるので画像の質は向上します。選べる解像度と指定可能な色数の対応は以下のとおりです。
モデルによって表示される解像度は異なります。

解像度	白黒	8 ビット カラー	24 ビット カラー
100 × 100dpi	○	○	○
150 × 150dpi	○	○	○
200 × 200dpi	○	○	○
300 × 300dpi	○	○	○
400 × 400dpi	○	○	○
600 × 600dpi	○	○	○
1200 × 1200dpi	○	×	○
2400 × 2400dpi	○	×	○
4800 × 4800dpi	○	×	○
9600 × 9600dpi	○	×	○
19200 × 19200dpi	○	×	○

- 24 ビットカラーは最適な色で画像を作成できますが、作成した画像ファイルのデータ容量は、8 ビットカラーを使用した場合の約 3 倍になります。
- 必要以上に解像度を高く設定すると、必要なハードディスクの空き容量もスキャンにかかる時間も増大します。適切な解像度を選んでください。
- 高い解像度でのスキャンは一般的に 600dpi 程度で十分ですが、上限は 2400dpi にすることをお勧めします。
- 4800dpi よりも高い解像度でスキャンするときは、スキャンする範囲を指定してください。

② 色数

取り込む色数を設定します。

モード	設定内容
白黒	文字原稿や線画原稿のスキャンに適しています。
グレイ［誤差拡散方式］	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。このモードでは、黒い点を原稿の濃淡に応じ一定の規則で配置することで、原稿の濃淡を擬似的に表現する方式でスキャンします。
256 階調グレイ	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。
8 ビットカラー	256 色のカラーで取り込みます。カラーイラストが含まれる原稿のスキャンに適しています。
24 ビットカラー	1677 万色のカラーで取り込みます。カラー原稿のスキャンに適しています。このモードでは、ブラザーカラーマッチング技術を利用するため、最良のスキャン結果を得ることができます。

- ワープロアプリケーション、グラフィックアプリケーション上で使用される写真や、その他の画像をスキャンする場合は、濃度・モード・画質の設定を調整して、どの設定が最適か判断してください。

③ **スキャンエリア**

以下のいずれかのサイズを設定します。

用紙	サイズ
レター	8 1/2 × 11 インチ
A5	148 × 210mm
A4	210 × 297mm
B5	182 × 257mm
エクゼクティブ	7 1/4 × 10 1/2 インチ
リーガル	8 1/2 × 14 インチ
名刺	90 × 60mm
カスタム（*）	8.9 × 8.9mm から 215 × 297mm まで調整可 （MFC-620CLN、MFC-5840CN は 215 × 355mm まで調整できます。）

（*）「カスタム」を選んだ場合は、「幅」と「高さ」を入力します。

カスタムサイズを選んだ後でも、スキャンの範囲をさらに調整できます。マウスでスキャン範囲の点線をドラッグします。この作業はスキャンするときに画像を切り取るために必要です。

名刺をスキャンするときは、名刺サイズ（90 × 60mm ）の設定を選び、原稿台ガラスに名刺をセットしてください。

④ **イメージ調整**

[カスタム] をクリックしたときは、[イメージ調整] をクリックし、必要に応じてつまみを左右にドラッグして明るさやコントラストを調節します。濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはコントラストを強くします。

⑤ **マッチングスタイル**

ColorSync™ を使って色補正を行う場合の基準を設定します。

設定	内容
知覚的（画像）	写真のようなイメージのとき選びます。
彩度（グラフィックス）	はっきりしたイメージで彩度を要求されるとき選びます。
相対的な色域を維持	色と色の関係（対比）が重要なとき選びます。
絶対的な色域を維持	シンボルカラーのような色そのものが持つイメージが重要なとき選びます。

⑥ **スキャナ用プロファイル**

本機を選びます。

Windows
Macintosh
第1章 プリンタ
第2章 スキャナ
第3章 PC-FAX
第4章 フォトメディアキャプチャ
第5章 リモートセットアップ
第6章 便利な使い方
付録

ネットワークスキャン機能を使う

ネットワークスキャン機能とは

本機でスキャンしたデータを、ネットワーク上のパソコンへ送ったり保存できる機能です。

注意

- ■ **DCP-110C をお使いの場合は、ネットワークスキャン機能は使用できません。**
- ■ **あらかじめ本機の TCP/IP の設定が必要です。詳しくは、「ネットワーク設定説明書」をご覧ください。すでにネットワークプリンタとして機能している場合は、TCP/IP が正しく設定されているので、設定する必要はありません。**
- ■ **Mac OS 8.6 ～ 9.2 をお使いの場合は、この機能は使用できません。**

ネットワークスキャンを使用する前に

ネットワークスキャン機能を使う場合は、スキャンしたデータを保存するパソコンをあらかじめ選ぶ必要があります。「かんたん設置ガイド」に記載されているインストール作業を行うと、コンピュータ名は自動的にインストールしたパソコンが登録されています。このまま使用する場合は操作する必要はありません。
IP アドレスを変更したり、保存先のパソコンを変える場合には、以下の手順で操作してください。

1 [Macintosh HD] - [ライブラリ] - [Printers] - [Brother] - [Utilities] - [DeviceSelector] の [DeviceSelector] をダブルクリックする

◆「Device Selector」画面が開きます。

Device Selector は ControlCenter2.0 からも起動できます。

2 [ネットワーク] を選ぶ

3 項目を設定する

- IP アドレスを変更する場合は、新しい IP アドレスを入力します。
- 本機の名称を変更する場合は、「ノード名」に新しい名称を入力します。
- 使用できる機器の一覧を検索してから設定する場合は、[検索] をクリックして該当する製品名を探すこともできます。

4 [OK] をクリックする

■ スキャンした画像データの保存に制限をつけたいときは

スキャンした画像データをパソコンに保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。

「パソコンをブラザー製品のスキャンキーへ登録」をオンにして、4 桁の数字をパスワードとして登録します。

Macintosh®

第 3 章 PC-FAX

パソコンからファクスを送る

パソコン上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信します。

注意

- DCP-110C をお使いの場合は、PC-FAX は使用できません。
- PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。（カラーのデータを送信すると、相手側のファクシミリがカラーに対応している場合でもモノクロで送信されます。）

Mac OS 8.6 ～ 9.2 の場合

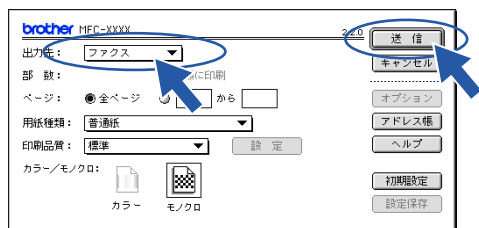
Macintosh® 上のアプリケーションで作成したファイルを以下の手順で送信します。

1 アップルメニューから「セレクタ」を選び、「Brother Ink」をクリックする

2 右側に表示された本機のモデル名をクリックし、セレクタを閉じる

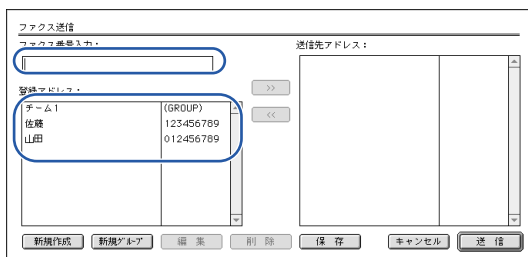
3 Macintosh® 上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

4 アプリケーションで [ファイル] メニューから [プリント] を選ぶ

5 「出力先」で「ファクス」を選び、[送信] をクリックする

◆ ファクス送信画面が表示されます。

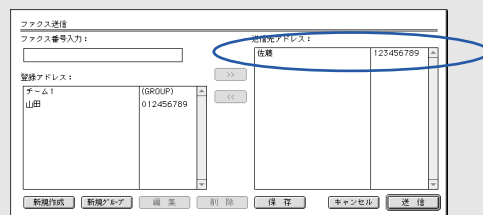
6 ファクス番号を入力する

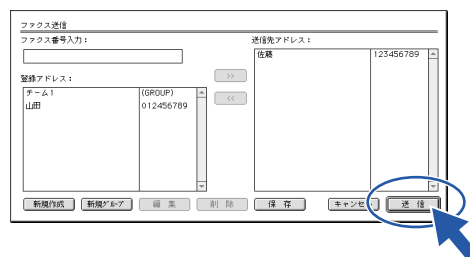
ファクス番号は以下の方法で入力できます。

・「ファクス番号入力」に番号を入力する
・「登録アドレス」から相手先をクリックする

「登録アドレス」から相手先を選ぶためには、あらかじめ番号を登録しておく必要があります。（99 ページ）

「登録アドレス」から相手先を選ぶときは、「Shift」キーで複数の相手先を一度に指定することができます。

7 [>>] をクリックする

◆ 「送信先アドレス」に送信先が表示されます。

ファクス番号を間違えて入力したときは、間違えた送信先アドレスをクリックし、[<<] をクリックします。

8 [送信] をクリックする

◆ ファクスが送信されます。

■ 送るのをやめるときは

(1) [キャンセル] をクリックする

◆ 手順 3 の画面に戻ります。

(2) [キャンセル] をクリックする

◆ 送信が中止されます。

Mac OS X 10.2.4 以降の場合

Macintosh® 上のアプリケーションで作成したファイルを以下の手順で送信します。

1 Macintosh® 上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

2 アプリケーションで [ファイル] メニューから [プリント] を選ぶ

◆ プリントダイアログボックスが表示されます。

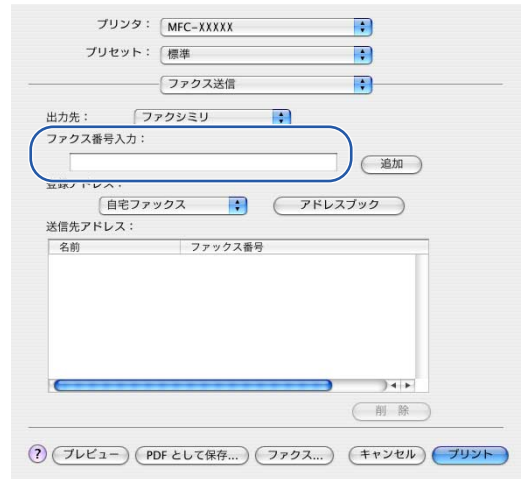
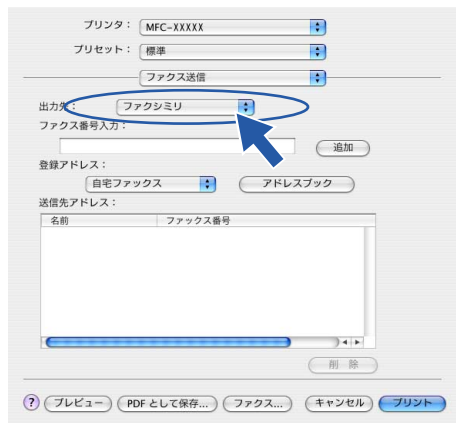
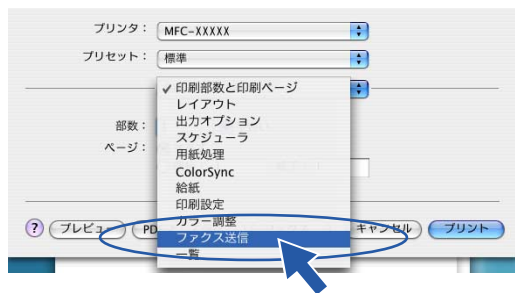
3 ポップアップメニューで [ファクス送信] を選ぶ

4 「出力先」で [ファクシミリ] を選ぶ

5 「ファクス番号入力」にファクス番号を入力する

複数の相手にファクスを送信するときは、続けて「ファクス番号入力」にファクス番号を入力し、［追加］をクリックします。

6 [プリント] をクリックする

◆ ファクスが送信されます。

送るのをやめるときは、［キャンセル］をクリックします。

PC-FAX アドレス帳を利用する

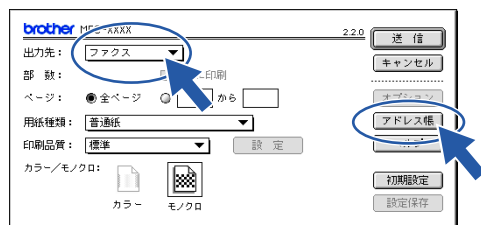
PC-FAX を使うときは、PC-FAX アドレス帳を設定すると簡単に送信先を設定できます。

PC-FAX アドレス帳に相手先を登録する（Mac OS 8.6 ～ 9.2 ）

PC-FAX の「PC-FAX アドレス帳」に送信先を登録します。

1 Macintosh® 上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

2 アプリケーションで [ファイル] メニューから [プリント] を選ぶ

3 「出力先」で「ファクス」を選び、[アドレス帳] をクリックする

◆ アドレス帳を設定する画面が表示されます。

4 [新規作成] をクリックする

◆ PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

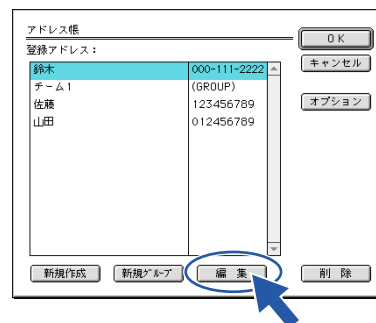
5 相手先の情報を入力する

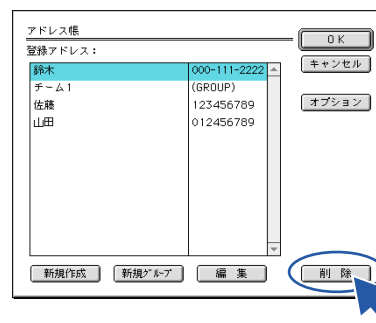
「名前」と「ファクス番号」は必ず入力します。「備考」には、半角 20 文字以内のコメントを入力できます。

6 [OK] をクリックする

◆ 相手先の情報が PC-FAX アドレス帳に保存されます。

■ PC-FAX アドレス帳の登録情報を修正する

修正したい相手先をクリックし、[編集] をクリックします。登録情報を設定する画面が表示されるので、情報を修正します。

■ PC-FAX アドレス帳の登録情報を削除する

(1) 削除したい相手先をクリックし、[削除] をクリックする

(2) [OK] をクリックする

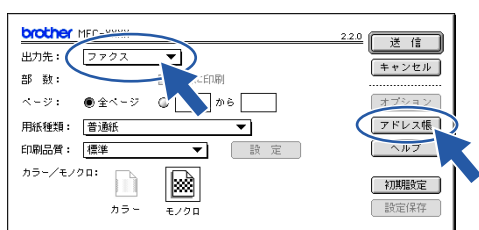
◆ 相手先が削除されます。

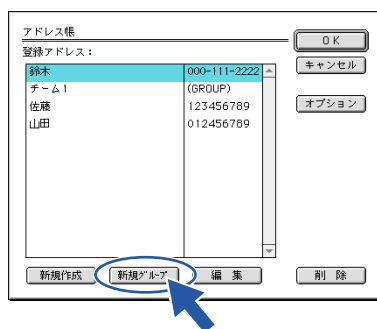
グループダイヤルに相手先を登録する（Mac OS 8.6 ～ 9.2 ）

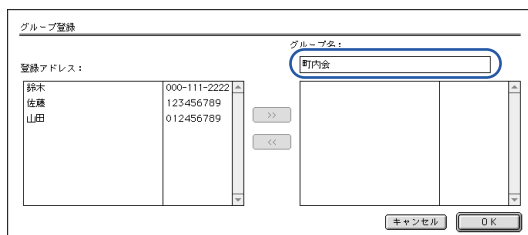
同じ内容のファクスを複数の相手先に何度も送信するときは、相手先を「グループ」として登録しておくと便利です。送信先として「グループ」を指定することで、一度の操作でグループに登録された複数の相手先にファクスを送ることができます。

1 Macintosh® 上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

2 アプリケーションで [ファイル] メニューから [プリント] を選ぶ

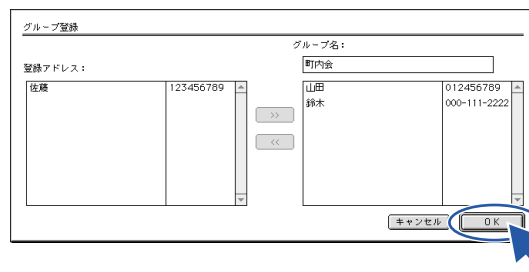
3 「出力先」で「ファクス」を選び、[アドレス帳] をクリックする

◆ アドレス帳を設定する画面が表示されます。

4 [新規グループ] をクリックする

◆ グループを設定する画面が表示されます。

5 グループ名を入力する

6 「登録アドレス」に表示されている相手先から、グループとして設定したい相手先を選び、[>>] をクリックする

グループに登録したい相手先についてこの操作を繰り返します。

◆ 選んだ相手先がグループのメンバーとして「グループ名」の下に表示されます。

7 [OK] をクリックする

◆ グループの設定がPC-FAXアドレス帳に登録されます。

8 [OK] をクリックする

◆ ファクス送信画面が表示されます。

9 A）ファクスを送信するとき

[送信] をクリックする

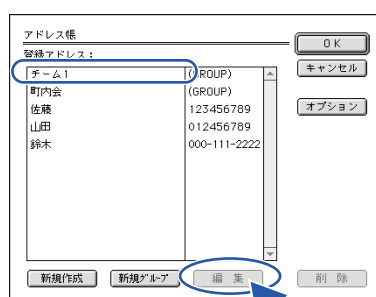
◆ ファクス送信の手順について、詳しくは「パソコンからファクスを送る」（96 ページ）をご覧ください。

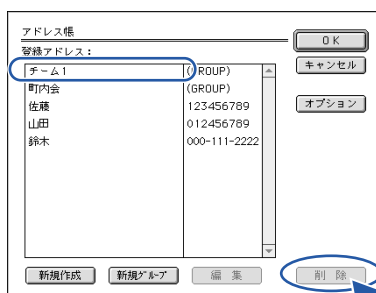
B）ファクスを送信しないとき

[キャンセル] をクリックする

◆ グループが設定され、アプリケーションの画面に戻ります。

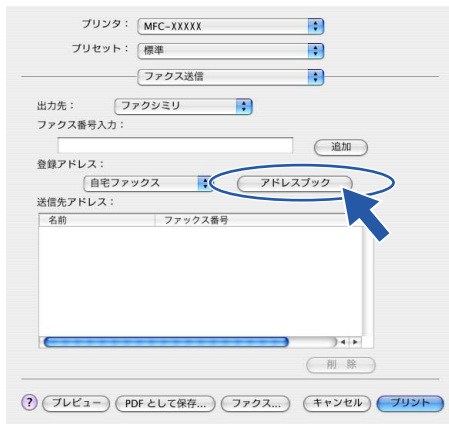
■ グループの登録情報を修正する

修正したいグループをクリックし、[編集] をクリックします。登録情報を設定する画面が表示されるので、情報を修正します。

■ グループの登録情報を削除する

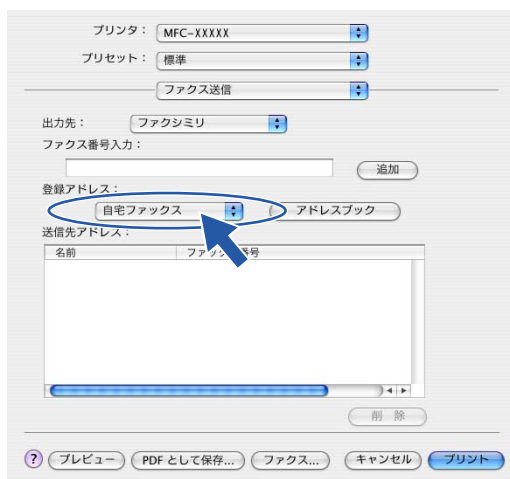
（1） 削除したいグループをクリックし、[削除] をクリックする

◆ グループの設定が削除されます。（グループに登録されている個々の相手先の情報は削除されません。）

アドレスブックから送信先を設定する（Mac OS X 10.2.4 以降）

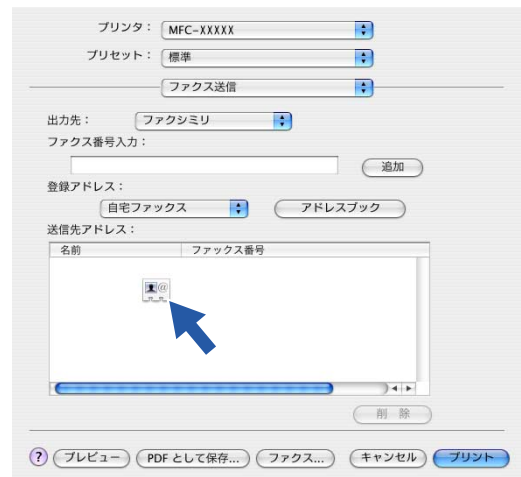
アドレスブックから Vcard (vcf 形式) をドラッグして送信先を設定できます。

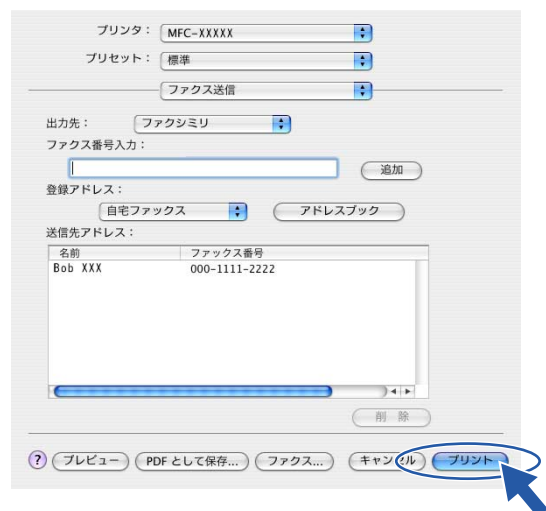
[アドレスブック] をクリックする

◆ アドレスブックが表示されます。

◆ 送信したいファクス番号が登録されている Vcard (vcf 形式) を選びます。

2 [登録アドレス] のポップアップメニューから送信先の項目を選ぶ

注意

- ■ 送信先アドレスは、[登録アドレス] を選ぶことで自宅ファクス番号または勤務先ファクス番号が決定されます。
  自宅ファクス番号または勤務先ファクス番号が登録された Vcard (vcf 形式) を使用してください。
- ■ Vcard (vcf形式)内に登録されているファクス番号がひとつの場合は、[登録アドレス] の選択に関係なく送信先として設定されます。

3 送信したいファクス番号の Vcard (vcf 形式) をドラッグして、「送信先アドレス」まで移動させる

複数の相手にファクスを送信するときは、手順 1 〜 3 を繰り返します。

4 [プリント] をクリックする

◆ ファクスが送信されます。

第４章 フォトメディアキャプチャ

フォトメディアキャプチャを使う前に

本機では、カードスロットにセットしたメモリーカードを、パソコン上で「リムーバブルディスク」として使うことができます。

注意

- 本機がフォトメディアキャプチャを使用して印刷している間、ネットワークメディアカードアクセスは使用できません。
- メモリーカードは正しくフォーマットされたものをお使いください。
- デジタルカメラなどと共有するメモリーカードは、必ずデジタルカメラなどでフォーマットしてください。
- デジカメプリントとパソコンからのメモリーカードの操作は同時にできません。必ず、どちらかの作業が終わってから操作してください。
- パソコンを起動・再起動するときは、本機のカードスロットからメモリーカードを抜いてください。

使用できるメモリーカード

本機では、下記のメモリーカードを使用できます。

注意

- 本機に対応しているスマートメディア®は3.3V専用です。（5Vタイプは使用できません。）
- マイクロドライブには対応していません。
- マジックゲートTM対応のメモリースティックの場合、保存されている音楽データを読み込むことはできません。
- 2つかまたは3つのメモリーカードを同時に挿入しても、最初に挿入したカードしか読み込みません。ほかのカードにアクセスするには、メモリーカードをすべて抜いてからアクセスしたいカードのみを挿入します。

- **コンパクトフラッシュ®**
  （TYPE1、最大2GB）

- **メモリースティック®（最大128MB）**
  メモリースティックPro（最大1GB）

※ マジックゲートTMメモリースティック、メモリースティックDuo、メモリースティックProデュオも使用できます。
※ メモリースティックDuo、メモリースティックProデュオを本機にセットするときは、アダプターが必要です。
※ マジックゲート機能（著作権保護機能）はご利用いただけません。

- **スマートメディア®**
  （3.3V 最大128MB）

- **xD-ピクチャーカードTM**
  （最大512MB）

- **SDメモリーカードTM**
  （最大512MB）

※ miniSDメモリーカードTMを本機にセットするときはアダプターが必要です。

メモリーカードをセットする

1 本機のカードスロットにメモリーカードを差し込む

メモリーカードは、正しいカードスロットにしっかりと差し込んでください。

◆ （デジカメプリント）が点灯します。

⚠ 注意

- （デジカメプリント）が点滅しているときは、電源コードを抜いたり、メモリーカードの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードを壊す恐れがあります。
- カードスロットには、メモリーカード以外のものを差し込まないでください。内部を壊す恐れがあります。

■ メモリーカードのアクセス状況

（デジカメプリント）の表示で、メモリーカードのアクセス状況がわかります。

点灯	メモリーカードが正しく差し込まれています。このときは、メモリーカードを取り出すことができます。
点滅	読み取り、または書き込みが行われています。このときはメモリーカードにさわらないでください。
消灯	メモリーカードが差し込まれていません。または、メモリーカードが正しく差し込まれていないため、本機に認識されていません。

- 複数のメモリーカードを差し込んだ場合は、先に差し込んだメモリーカードだけを認識します。
- メモリーカードが認識されないときは、記録した機器に戻して確認してください。

Macintosh® からメモリーカードを使う [Mac OS 9.x、Mac OS X 10.2.4 以降]

注意

■ Mac OS 8.6 をお使いの場合は、あらかじめアップルコンピュータ社のホームページから「USB Mass Storage Support 1.3.5」をダウンロードし、インストールしてください。

メモリーカードにアクセスする

カードスロットにセットしたメモリーカードを、パソコン上で「リムーバブルディスク」として使います。

1 メモリーカードを本機にセットする

⇒「メモリーカードをセットする」（105 ページ）

2 デスクトップに表示されたリムーバブルディスクのアイコン*をダブルクリックする

*メモリーカードにボリューム名が設定されている場合は、その名称が表示されます。

◆ メモリーカードに保存されているファイルやフォルダが表示されます。

3 ファイルを編集する

ファイルを表示したり、パソコンへコピーしたりできます。

メモリーカードにネットワーク経由でアクセスする

本機に挿入したメモリーカードに、ネットワークを経由してアクセスし、ファイルを表示したりコピーしたりできます。

注意

■ DCP-110C をお使いの場合は、この機能は使用できません。
■ ファイルの書き込み、修正はできません。
■ ネットワーク経由で他のパソコンがメモリーカードにアクセスしているときは、同時にアクセスできません。
■ メモリーカードに保存されたデータを印刷しているときは、アクセスできません。

1 本機のカードスロットにメモリーカードを差し込む

メモリーカードは、正しいカードスロットにしっかりと差し込んでください。

2 InternetExplorer などの Web ブラウザを起動する

3 Web ブラウザのアドレス欄に本機の IP アドレスを入力する

例）192.168.0.10 の場合は、
「ftp://192.168.0.10」と入力します。

4 ファイルを表示したり、別のドライブにコピーする

ファイルを別のドライブに保存するときは、[Ctrl] キーを押しながらファイルをクリックし、表示されるメニューから「画像をディスクにダウンロード」を選びます。

メモリーカードを取り出す

メモリーカードを取り出すときは、メモリーカードを損傷しないよう、以下の手順で取り出します。

1 メモリーカードを参照しているソフトウェアをすべて終了する

2 [リムーバブルディスク] アイコンをゴミ箱にドラッグする

◆ 本機の デジカメプリント が点滅することがあります。(点滅しなくても異常ではありません。そのままお使いください。)

3 本機の デジカメプリント が点滅していないことを確認し、そのまま引き抜く

注意

- ■ 本機がメモリーカードを読み込んでいるとき(デジカメプリント 点滅中)は、電源コードや USB ケーブルを抜いたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。データが読めなくなったり、メモリーカードが損傷を受けることがあります。
- ■ 誤って デジカメプリント が点滅中にメモリーカードを取り出した場合は、パソコンをすぐに再起動した後、メモリーカードを挿入してください。パソコンを再起動する前に他のメモリーカードを挿入すると、データが破壊されることがあります。
- ■ Macintosh® のデスクトップにメモリーカードのアイコンが表示されているときは、本機の「フォトメディアキャプチャ」は使用できません。デスクトップに表示されているメモリーカードのアイコンをゴミ箱に移動したあと、ご使用ください。
- ■ 誤ってアクセスランプが点滅中にメモリーカードを取り出した場合は、Maintosh® の「システム終了」を実行できなくなることがあります。その場合は本機を接続している USB ケーブルを抜いてから、Macintosh® の「システム終了」を実行してください。

Macintosh®

第５章 リモートセットアップ

リモートセットアップを利用する

リモートセットアップとは

本機に対する機能設定は操作パネル上のナビゲーションキーとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使うと、パソコン上で簡単に行うことができます。
リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

注意

- **Mac OS 8.6 ～ 9.2 をお使いの場合は、この機能は使用できません。**
- **DCP-110C をお使いの場合は、この機能は使用できません。**
- **リモートセットアップ画面を開いているときは、本機で他の操作をすることができません。**
- **本機の操作パネルから機能の設定や登録をしているときは、リモートセットアップ機能は使用できません。**

本機の設定をパソコンから変更する

リモートセットアップを使って本機の設定を変えるときは、以下の手順で操作します。

1 「リモートセットアップ」を起動する

[Macintosh HD] ー [ライブラリ] ー [Printers] ー [Brother] ー [Utilities] から [RemoteSetup] アイコンをクリックします。

◆ **現在本機に設定されている内容がパソコンにダウンロードされ、リモートセットアップの画面が表示されます。**

注意

- **本機に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。**

2 左側（A）から設定したい項目を選び、右側（B）の項目を設定する

3 設定し終わったら、[OK] をクリックする

◆ 設定内容が本機に送信され､｢リモートセットアップ｣ を終了します。

リモートセットアップは ControlCenter2.0 からも実行できます。

■ その他の操作について

リモートセットアップの設定では､設定内容をファイルとして保存したり、印刷したりすることができます。

① エクスポート
現在の設定内容をファイルに保存します。

② インポート
ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ 印刷
｢設定内容リスト｣ を印刷できます。ただし､本機に送信する前は印刷できないため､[適用] をクリックして新しいデータを送信してから､[印刷] をクリックしてください。

④ OK
設定した内容を本機に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。
送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して､[OK] をクリックしてください。

⑤ キャンセル
設定した内容を本機に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ 適用
設定した内容を本機に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

本機の電話帳を作成・変更する

リモートセットアップを使って電話帳の登録、編集ができます。

■ 電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号（ファクス番号）と名称を、2 桁の短縮番号（最大 80 件）に登録します。

1 左側から「デンワチョウ トウロク」を選ぶ

◆ 電話帳登録の画面が表示されます。

2 登録する短縮番号の行にある「FAX/TEL バンゴウ」に電話またはファクス番号を入力する

3 種別で「ファクス / デンワ」を選ぶ

4 「アイテサキ メイショウ」に相手先の名前を入力する

5 グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 3 に登録する場合は、「G3」を ON にします。

6 ［OK］をクリックする

◆ 設定した内容が本機に送信され、リモートセットアップが終了します。

■ 電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。グループは 6 つまで登録できます。

1 左側から「デンワチョウ トウロク」を選ぶ

◆ 電話帳登録の画面が表示されます。

2 種別でグループを選ぶ

グループ番号は「1 ～ 6」から選びます。

例）ここでは「グループ 2」を選びます。

3 「アイテサキ メイショウ」にグループ名を入力する

4 グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 2 に登録する場合は、「G2」を ON にします。

5 ［適用］をクリックする

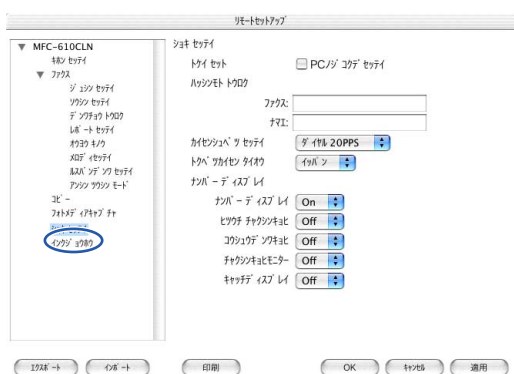
◆ グループダイヤルが登録されます。

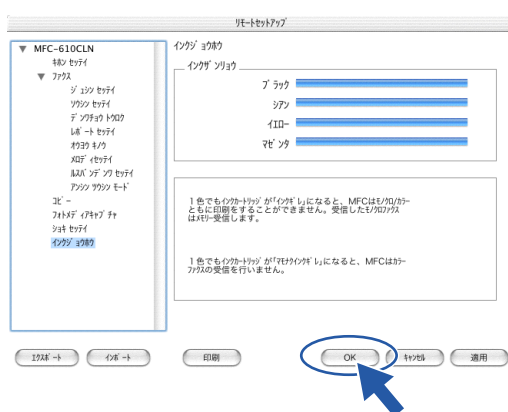
インク残量を確認する

リモートセットアップでインク残量を確認するときは、以下の手順で操作します。

注意

- 1色でもインクカートリッジが「インクギレ」になると、本機はモノクロ/カラーともに印刷をすることができなくなります。（このときにファクスが送られてきた場合は、本機はメモリー代行受信でファクスを受信します。）
- 1色でもインクカートリッジが「マモナクインクギレ」になると、本機はカラーファクスの受信を行いません。そのため、定期的にインクの残量を確認することをお勧めします。

1 リモートセットアップの設定画面で、左側から「インクジョウホウ」を選ぶ

◆ インク残量が表示されます。

2 確認し終わったら、[OK] をクリックする

◆ インク残量の確認と「リモートセットアップ」を終了します。

Macintosh®

第 6 章 便利な使い方（ControlCenter2.0）

ControlCenter2.0 とは

本機を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本機が持つスキャナ、PC-FAX などの機能の入り口の役割を持っています。

注意

■ **Mac OS 8.6 ～ 9.2 をお使いの場合は、この機能は使用できません。**

ControlCenter2.0 の基本操作

ControlCenter2.0 では、本機で利用できるさまざまな機能をボタンをクリックするだけで呼び出せます。
ControlCenter2.0 の画面が表示されたら、以下の手順で機能を選びます。

1.モデル名を選ぶ

ネットワーク接続などで複数の機器が接続されているときは、操作するモデル名を選びます。

2. 機能タブをクリックする

スキャン、PC-FAXなど機能の種類を選びます。
お使いのモデルによって表示されるタブの数は変わります。

3. 使用する機能のボタンをクリックする

機能タブを選んで表示されるボタンから使用したい項目を選びます。設定されたソフトウェアや設定画面が起動し、機能が実行されます。
お使いのモデルによって表示されるボタンの数は変わります。

[設定] をクリックして表示されるメニューを使用すると、タブの表示内容に関係なく各項目の設定画面を表示できます。

使用できる機能

ControlCenter2.0 画面の左側には、機能の種類別にタブが表示されます。それぞれのタブでできることは以下のとおりです。

ControlCenter2.0 を起動する

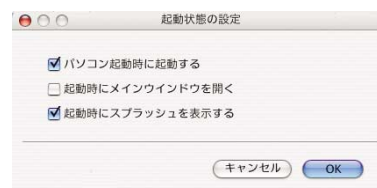
1 [MacintoshHD] - [ライブラリ] - [Printers] - [Brother] - [Utilities] - [ControlCenter] から [ControlCenter] アイコンをクリックする

◆ ControlCenter2.0 のウィンドウが開き、メニューバーに が表示されます。

■ 起動時の動作を設定する

パソコンを起動したとき、ControlCenter2.0 も同時に起動させることができます。

(1) メニューバーの をクリックして、［起動状態の設定］を選ぶ

◆「起動状態の設定」画面が表示されます。

(2) 起動時の動作を以下の項目から選ぶ

- パソコン起動時に起動する
  ControlCenter2.0 が起動し、メニューバーで待機します。
- 起動時にメインウィンドウを開く
  ControlCenter2.0 が起動し、ウィンドウを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する
  起動時にスプラッシュ画面を表示します。

(3) ［OK ］をクリックする

スキャン

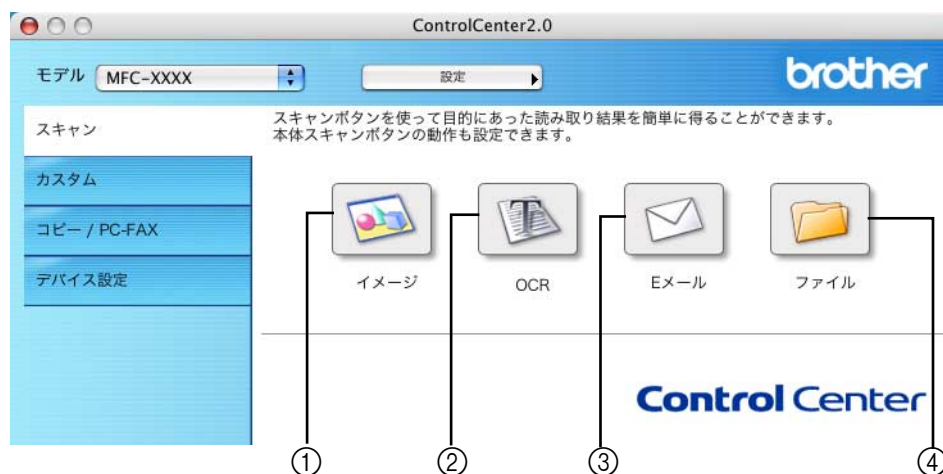
使用する目的に応じて、データをスキャンします。本機のスキャンボタンの動作も設定できます。

① **イメージ**
原稿をスキャンして、任意のアプリケーションで開きます。

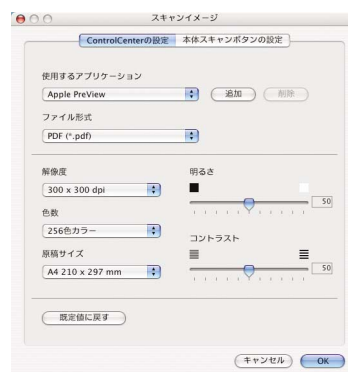
② **OCR**
文字の入った原稿をスキャンして、パソコンで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

③ **E メール**
スキャンした原稿を添付ファイルにして、メールの送信画面を起動します。

④ **ファイル**
原稿をスキャンして、すぐにパソコンの指定したフォルダに保存します。ファイルはビットマップ（*.BMP）、JPEG(*.JPG)、TIFF(*.TIFF)、PNG(*.PNG)、PDF（*.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

■ スキャンの設定を変更する

起動するアプリケーションやスキャン時の設定は、以下の手順で変更できます。

(1) ［Ctrl ］キーを押しながらボタンをクリックする

(2) 「ControlCenter の設定」タブをクリックし、内容を設定する

例）「イメージ」の場合

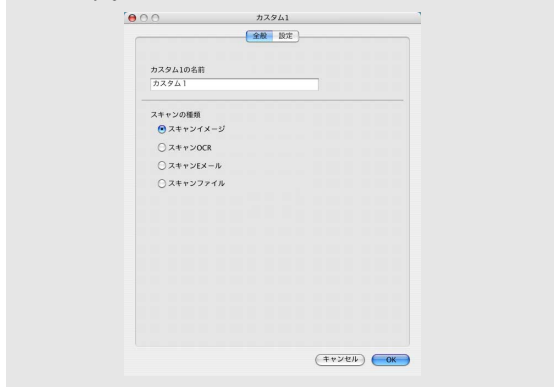
「本体スキャンボタンの設定」タブをクリックすると、本機のスキャンボタンからスキャンする動作を設定できます。

カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を 4 つまで登録できます。

■ よく使う設定を登録する

1 **[Ctrl] キーを押しながらボタンをクリックする**

◆「カスタム」ダイアログボックスが表示されます。

2 **「カスタムの名前」に名前を入力する**

3 **スキャンの種類を選ぶ**

スキャンの種類は「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」から選びます。

4 **他の項目を必要に応じて設定する**

5 **[OK] をクリックする**

◆ 設定した内容で登録されます。

■ スキャンを実行する

1 **原稿をセットして設定したボタンをクリックする**

◆ 設定に従ってスキャンが実行されます。

コピー /PC-FAX

原稿をコピーしたり、パソコンからファクスをします。コピーとファクス送信の設定を 4 つまで登録できます。

注意

■ DCP-110C をお使いの場合は、この機能は使用できません。

■ コピーの設定を登録する

1 [Ctrl] キーを押しながらボタンをクリックする

◆「コピー」ダイアログボックスが表示されます。

2 「コピーの名前」に名前を入力する

3 「コピー設定」を選ぶ

「コピー設定」は、「用紙サイズに合わせる」または「100%」から選びます。

4 他の項目を必要に応じて設定する

5 [OK] をクリックする

◆ 設定した内容で登録されます。

■ コピーを実行する

1 原稿をセットして設定したボタンをクリックする

◆ 設定に従ってコピーが実行されます。

表示された画面に従って設定します。詳しくは「印刷する」（81 ページ）をご覧ください。

■ PC ファクスを送信する

1 原稿をセットして、設定したボタンをクリックする

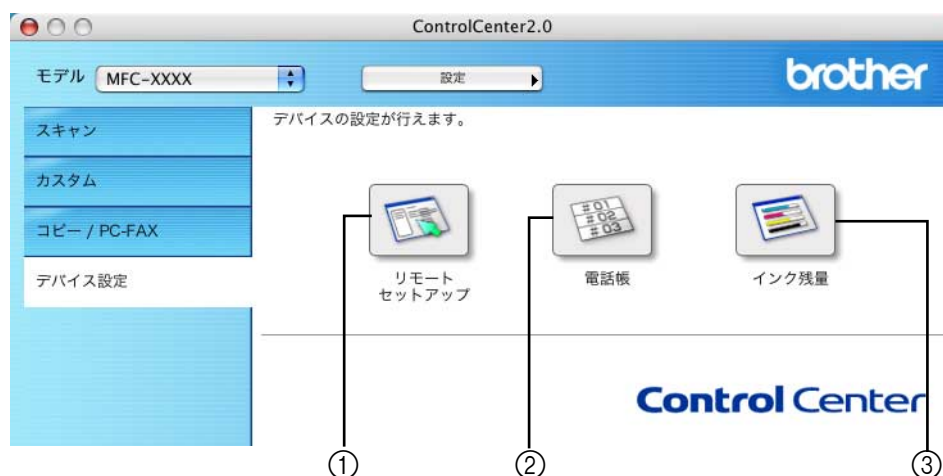
◆「コピー」ダイアログボックスが表示されます。

2 「対象プリンタ」でお使いのモデル名を選び、[OK] をクリックする

◆「プリント」ダイアログボックスが表示されます。

PC-FAX 送信の操作については、98 ページの手順 5 以降をご覧ください。

デバイス設定

インク残量を確認したり、リモートセットアップを使って本機の設定を確認できます。本機が USB ケーブルで接続されているときのみ使用できます。

① **リモートセットアップ**

パソコン上で本機に関する機能設定ができます。

> リモートセットアップについては、「リモートセットアップ」（110 ページ）をご覧ください。

② **電話帳**

本機の電話帳の登録、編集作業ができます。

> 電話帳の操作については、「本機の電話帳を作成、変更する」（112 ページ）をご覧ください。

③ **インク残量**

本機のインク残量を確認できます。

> インク残量の確認については、「インク残量を確認する」（113 ページ）をご覧ください。

付　録

エラーメッセージが表示されたときは

本機のディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、取扱説明書の「エラーメッセージ」をご確認ください。取扱説明書に記載された処置方法を行ってもエラーが解決しないときは、「お客様相談窓口（コールセンター）0570-031523」へご連絡ください。

故障かな？と思ったときは

故障かな？と思ったときは、取扱説明書の「故障かな？と思ったときは」および弊社サポートページ、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/）のＱ＆Ａ をご確認ください。取扱説明書に記載された処置方法を行っても問題が解決しないときは、「お客様相談窓口（コールセンター）0570-031523」へご連絡ください。

使用環境

本機とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。

Windows® の場合

本機とパソコン（Windows®）を接続する場合、以下の動作環境が必要となります。

OS ／ CPU ／メモリ

Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional
Pentium® Ⅱプロセッサ　300MHz(Pentium® 互換 CPU 含む)以上 /64MB　(推奨 128MB ）以上
Windows® XP/
Pentium® Ⅱプロセッサ　300MHz(Pentium® 互換 CPU 含む)以上 /128MB　(推奨 256MB ）以上

ディスク容量

300MB 以上の空き容量

CD-ROM ドライブ

2 倍速以上必須

Web ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 4 以上が必要です。
※ Microsoft Internet Explorer 6 以上を推奨します。

インターフェース

● USB 2.0 フルスピード
標準搭載モデルのみ対応しています。
● ネットワーク
（10BASE-T ）/（100BASE-TX ）
※ USB ケーブル、ネットワークケーブル（LAN ケーブル）は、市販品をご利用ください。
※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
※ USB2.0 ハイスピード対応のパソコンでもご使用いただけますが、12M ビット / 秒のフルスピードモードでの接続になります。
※ USB1.1 対応のパソコンとも接続できます。

メモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

Windows® 2000 Professional/XP を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」でログオンする必要があります。

Macintosh® の場合

本機と Macintosh® を接続する場合、以下の動作環境が必要となります。

OS ／ CPU ／メモリ

MacOS 8.6 ～ 9.2
MacOS X 10.2.4 以降

ディスク容量

280MB 以上の空き容量

CD-ROM ドライブ

2 倍速以上必須

インターフェース

● USB 2.0 フルスピード
標準搭載モデルのみ対応しています。
● ネットワーク
（10BASE-T ）/（100BASE-TX ）
※ USB ケーブル、ネットワークケーブル（LAN ケーブル）は、市販品をご利用ください。
※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
※ USB2.0 ハイスピード対応のパソコンでもご使用いただけますが、12M ビット / 秒のフルスピードモードでの接続になります。
※ USB1.1 対応のパソコンとも接続できます。

メモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

Mac OS X への対応状況は、弊社ホームページにて最新情報を公開しております。以下のアドレスを参照してください。
http://solutions.brother.co.jp/

注意

- **Mac OS 9.0.2 ／ 9.0.3 をお使いの場合は、Mac OS 9.0.4 にアップグレードしてください。**
- **Mac OS 10.2 をお使いの場合は、Mac OS 10.2.4 以降へのアップグレードが必要となります。**

索　引

数字

B

C

P

S

T

V

W

X

あ

い

う

え

お

か

き

く

よ

り

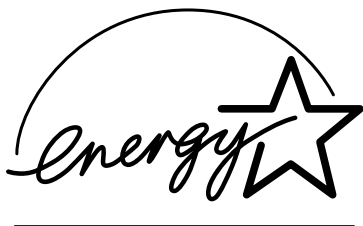
れ

わ

特許、規制

国際エネルギースタープログラム

この制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むために、エネルギー消費の少ない効率的な製品を開発・普及させることを目的としています。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

VCCI 規格

この装置は、情報装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

本文中では、OS 名称を略記しています。

Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SE の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。

Microsoft 、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh は、アップルコンピュータ社の登録商標です。
Adobe、Photoshop は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
Presto! PageManager は NewSoft Technology Corp. の登録商標です。
スマートメディアは、株式会社東芝の登録商標です。
コンパクトフラッシュは、サンディスク社の登録商標です。
Memory Stick 、メモリースティック、Magic Gate Memory Stick 、マジックゲートメモリースティックはソニー株式会社の商標または登録商標です。
SD メモリーカードは松下電器産業株式会社、サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
xD- ピクチャーカードは富士写真フイルム株式会社の商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどをおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

【お客様相談窓口（コールセンター)】	**【Presto!PageManager & Presto! ImageFolio テクニカルサポート窓口】**	**【消耗品のお問い合わせ窓口】**
TEL： **0570-031523** ※上記番号がつながりにくいときは、「**052-824-5149**」にご連絡ください。 受付時間： 月～金　9：00～20：00 土　　　9：00～17：00 日・祝日および当社（ブラザー販売（株））休日は休みとさせていただきます。 ブラザーソリューションセンター： http://solutions.brother.co.jp/	ニューソフトジャパン株式会社 ニューソフトカスタマーサポートセンター TEL　：03-5472-7008 FAX　：03-5472-7009 受付時間　10：00 ～ 12：00 　　　　　13：00 ～ 17：00 （土日・祝日を除く） テクニカルサポート電子メール： support@newsoft.co.jp ホームページ： http://www.newsoft.co.jp/	ブラザー販売（株） 情報機器事業部　ダイレクトクラブ 〒467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町 15-1 TEL　：0120-118-825 （土・日・祝日、長期休暇を除く 9：00～17：00） FAX　：052-825-0311 ホームページ： http://www.brother.co.jp/direct/

※取扱説明書に乱丁、落丁があったときは、「お客様相談窓口（コールセンター）0570-031523」にご連絡ください。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries.Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後５年です。